

令和7年度 岩見沢市立北村小学校

学校(自己)評価報告書

令和8年3月

学校名	岩見沢市立北村小学校							
校長名	小笠原 寛和				教職員数		16	
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
学級数	1	1	1		1	1	3	8
児童数	6	10	8	7	9	11	4	55
住所	岩見沢市北村中央4725							
電話	0126-56-2201							
FAX	0126-36-2103							
URL	https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/soshiki/kitamurashogakko/4298.html							
E-mail	kitamuras@edu.hamanasu.com							

I 学校教育目標

(1) 北村小中一貫教育目標

共に高め合い未来を創る力を育む学校の創造

(2) 北村小学校教育目標

- 【もとめる子】 ～ 「見通しをもって粘り強く学び続ける子ども」
- 【おもいやる子】 ～ 「人を思いやる言葉かけや行動ができる子ども」
- 【やりぬく子】 ～ 「新たなことに挑戦し努力できる子ども」
- 【きたえる子】 ～ 「自分の健康・安全に気を配ることができる子ども」

II 中期及び単年度の具体的目標（令和7年度の具体的目標）

○今年度の重点目標

- ・本校の教育目標の具現化を図るための「最重点項目」を以下通りとし、7つずつの経営と指導の重点を定めた。

最重点項目：学び続ける学校「チームで支える持続可能な共同体の構築」

III 各種具体的な計画（経営の重点と指導の重点：各7項目）

I 経営の重点

◎ 最重点項目 学び続ける学校
「チームで支える持続可能な協働体制の構築」

(1) 学校運営の充実

運営資源の総動員による学校運営の充実

- ア 校務運営組織の工夫による組織力の強化
- イ 全教職員の学校運営への参画意識の一層の向上

ウ 学校評価の工夫と評価結果を踏まえた改善方策の明確化

(2) 教育課程の編成・実施等

社会に開かれた教育課程の編成とカリキュラム・マネジメントの充実

ア カリキュラム・マネジメントに基づく特色ある教育課程の工夫・改善の推進

イ 地域の教育資源を活用した教科等の年間指導計画を見直し、地域に根ざした学びの充実

ウ 各種調査結果等を組織的に分析し、課題を的確に把握し、効果的な改善策の実行

エ 教育目標を踏まえた実効性のある教科担任制、相互乗り入れ授業、合同授業、相互授業参観等の展開による教職員間の連携と指導力の向上の促進

オ 児童生徒のよりよい成長と学びの質を高めるための「授業時数特例校制度」および「1単位時間の弾力化」の効果的な活用と推進

(3) 専門性の向上を図る研修活動の充実

教職員が自ら専門性の向上に努める研修の充実

服務規律の保持・徹底に向けた取組の充実

ア 統一感・一貫性のある校内研修の推進と活性化

イ 「学校づくり=授業づくり」の視点に立った「学び続ける学校」への組織的な改善

ウ 外部講師を活用した課題研究及び今日的な課題に対応した実践研修の推進

エ 各種研修講座や研究大会、各校の公開研究会等への計画的な参加と校内への還元

オ 次期学習指導要領の改訂議論等を踏まえた取組の充実

カ サービス規律の確立や法令遵守の徹底によるコンプライアンス意識の一層の向上

(4) 安全・安心な学習環境の充実

あらゆる危機に対応する危機管理体制の充実

ア 教職員の危機管理意識に基づく危機管理体制の整備と迅速な対応の徹底

イ 定期的な安全点検による危険箇所等の確認及び修繕

ウ 安全教育、防災教育、防犯教育を家庭や地域、関係機関と連携し実施

エ 情報モラル教育や薬物乱用防止教育等を通じて、児童生徒の健全な成長を支援

オ 児童生徒が自己肯定感を高め、自らの判断で命を守る力を育むとともに、ストレスやトラブルに適切に対処できるよう支援する体制の整備

(5) 家庭・地域・関係機関等との連携

小中一貫教育の推進・充実

信頼される開かれた学校づくりに向けた連携・協働の充実

ア 「めざす子ども像」の共有、学びの連続性を実現する校種間連携の推進

イ 義務教育9年間を見通した組織的な学力向上とピア・サポートの推進

ウ 北村中学校区学校運営協議会(コミュニティ・エリア)を基盤とした「地域とともに歩む学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進

エ 地域の人材や資源を活用するとともに連携の強化による教育活動の推進

オ 小中一貫した教育活動及び合同行事等の企画と実施を通じて、児童生徒の一体感を高めるとともに、地域社会とのつながりを強化

カ 保護者との信頼関係の構築、保護者や地域住民が来校しやすい環境づくりの推進

キ 少年団活動・部活動地域展開の推進

(6) 働きやすい職場環境の醸成

教職員が健康でやりがいを持てる環境づくりと実効性ある働き方改革の推進

- ア 児童生徒を徹底して大切に教育の実現に向けた「学校における働き方改革」の充実
- イ 同僚性と協働性を重視した支え合いと協力によるストレス軽減、業務効率化、職員の健康とモチベーションの向上
- ウ 「岩見沢市立学校における働き方改革行動計画（第3期）」等を踏まえた働き方改革の推進
- エ 「岩見沢市の部活動の在り方に関する方針」に則り策定した「北村中学校の部活動に関する活動方針」等を踏まえた少年団活動・部活動の推進

(7) 学校事務の充実

教育活動の充実に資する財務管理等の学校事務の充実

- ア 学校の課題を踏まえ教育効果を高める効果的・効率的な事務処理の推進
- イ 短期・中期・長期的な展望に立った積極的な予算の要望や執行
- ウ 公文書や備品の適切な保管・管理と適正な会計処理の推進

2 指導の重点

◎ 最重点項目 授業づくりで学校づくり
「生きる力を確実に育成する授業改善の推進」

(1) 学習指導の充実

自立した学習者を育て、資質・能力を育成する指導の改善・充実

ICTの効果的活用等による「個別最適・協働的な学び」の充実

岩見沢型ピア・サポートの学習集団づくりの充実

- ア ICT機器を最大限に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による、子どもたち一人一人を主語とした授業づくり（自立した学習者の育成）
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善による確かな学力の追求
- ウ 身に付ける資質・能力を明確にし、「授業の基本型」を基盤とした授業の展開
- エ 子どもとの対話により、「教える」べきことを教え、「考えさせる」べきことを考えさせる授業の展開
- オ 「学習スキルの向上」と「学習ルールの徹底」による児童生徒の学びの形成
- カ 岩見沢型ピア・サポートを土台とした「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく学習集団づくり
- キ 外国語指導助手の効果的な活用と「英語が使える岩見沢の子ども」の育成
- ク 読書に親しむ習慣や学びに向かう態度を身に付ける読書活動の推進
- ケ 検定・資格試験への積極的な挑戦を奨励し、児童生徒の挑戦心と学習意欲の向上を支援

(2) 生徒指導の充実

児童生徒に寄り添い自己肯定感を高める指導の充実

発達支持的生徒指導、包括的生徒指導の充実

プロアクティブな生徒指導としてのピア・サポートの充実

- ア 「学校いじめ防止対策基本方針」に基づく対応、「いじめの積極的な認知」と「いじめ見逃しゼロ」をはじめとした組織的ないじめ対応の充実
- イ 日常的な教育相談活動等による児童生徒理解の推進
- ウ 不登校の未然防止及び関係機関との連携等による不登校対応の推進

エ ICT機器の適切な活用を図る、啓発資料・出前授業等による情報モラル教育とメディアリテラシーの向上

オ 小中協働によるピア・サポートの推進

(3) 道徳教育の充実

児童生徒の心に響き人間としての生き方についての考えを深める指導の充実

ア 生命を大切にし、豊かな人間性・社会性を育む「心の教育」の推進

イ 「考え、議論する」道徳科を要として教育活動全体を通じて行うしなやかな道徳教育の推進

(4) 体育及び健康安全指導の充実

児童生徒が主体的に健康の保持・増進に取り組む指導の充実

ア 新体力テストによる体力の実態把握と体力向上の取組(1校1実践)の推進

イ 義務教育9年間を見通した運動の習慣化に向けた取組の推進

ウ 望ましい生活習慣の定着や自ら健康管理を行う保健指導等の推進

エ 学校給食を教材とした望ましい食習慣の形成等、家庭・地域等と連携した食育の推進

(5) 総合的な学習の時間の充実

児童生徒が自ら目標を定め探究課題の解決に取り組む指導の充実

ア ふるさとに愛着と誇りをもつ「ふるさと教育」や、将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育む「キャリア教育」の推進

イ 関係機関との連携や地域の教育資源の活用による学ぶ機会の設定

ウ 「マイ・ノート」(キャリア・パスポート)を活用した学習履歴の引継ぎ

(6) 特別活動、学級経営の充実

児童生徒が様々な集団活動で互いのよさや可能性を発揮する指導の充実

ア 支持的・親和的な人間関係を育む「ピア・サポート」の推進とQ-U及びアセスの活用

イ 一人一人に寄り添うきめ細かな学年・学級経営による児童生徒と教師の信頼関係の構築

ウ 児童生徒のよさや可能性を伸ばし、集団への所属感・連帯感を深め、よりよい人間関係の形成に資する学校行事、児童会生徒会活動、クラブ活動・部活動の工夫

(7) 特別支援教育の充実

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

ア 「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」に基づく指導・支援及び引継ぎの充実

イ 校内委員会の機能強化による就学支援、特別支援学校との連携(パートナー・ティーチャー派遣等)、通常の学級に在籍する児童生徒に対する指導・支援の充実

今年度の数値目標 達成：青 未達成：赤

(1) 全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国比100以上

全国学力・学習状況調査：国語と理科が100以上、算数は下回った。

国語 102 算数 95 理科 114 ※4月に実施

(2) 標準学力検査(NRT)の学力偏差値を50以上

国語 2年 46.1 3年 51.4 4年 44.7 5年 55.9 6年 47.5

※4月に実施

算数 2年 43.3 3年 44.9 4年 48.1 5年 56.2 6年 49.7

※4月に実施

(3) 新体力テストのスコアを全国平均以上

新体力テスト・実技調査T得点：全国平均比 男子 88.8 女子 99.4 ※6月に実施

(4) 学校評価保護者アンケート項目全てで「肯定的評価」を80%以上、A評価を40%以上

肯定的評価80%以上は、11項目中、10項目だった。 ※11月に実施

A評価40%以上は、11項目中、1項目だった。

(5) 学校評価児童生徒アンケート項目の全てで肯定的回答を80%以上、A評価を40%以上

肯定的評価80%以上は、8項目中、8項目だった。 ※11月に実施

A評価40%以上は、8項目中、8項目だった。

(6) 授業アンケート項目の全てで3.5ポイント以上

全4項目すべてで3.5ポイント以上であった。

(7) 家庭学習時間、小学生「学年×10分+10分」の達成率を100%

達成率は55%であった。

(8) 学校に起因する不登校児童を0人

達成できた。

(9) いじめ調査アンケートの回答で「だれにも相談しない」項目の回答数を0人

達成できなかった。1回目アンケート7名、2回目2名、3回目5名であった。

(5) 校舎施設時刻月平均19時までの達成率を100%

達成できた。

IV 各種評価結果と改善策、分析・考察

※次ページ以降に掲載

V 学校関係者評価を受けての改善策等

3月10日学校運営協議会にて学校評価の結果と分析をお示した。前年度よりも肯定的意見が増えたことについてお話したところ、次年度に向けても組織的に教育活動を行っていただきたいとご意見をいただいた。

VI 資料

12月学校便り（号外）

令和7年度学校評価結果と考察について

○以下の「めざす児童像」「めざす学校像」「めざす教師像」「経営の重点」「指導の重点」の達成に向けた学校評価を実施しました。
(保護者アンケート回収率65.9%)

○令和7年度 学校経営方針	
めざす児童像 「自立する子」	①「知」次代の北村を担うために見通しを持って粘り強く学び続ける児童
	②「徳」自分を律し、自他を大切にできる児童
	③「体」日々の生活で適切な判断を行い、心身の健康を維持できる児童
めざす学校像	①「児童生徒が期待感を持ち、通いとなる学校」
	②「家庭・地域が応援したくなる学校」
	③「活気があり教職員が充実感を持てる学校」
めざす教師像	①心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師
	②授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師
	③家庭・地域との連携・協働を大切に信頼される教師
経営の重点	最重点項目：学び続ける学校「チームで支える持続可能な協働体制の構築」
指導の重点	最重点項目：授業づくりで学校づくり「生きる力を確実に育成する授業改善の推進」

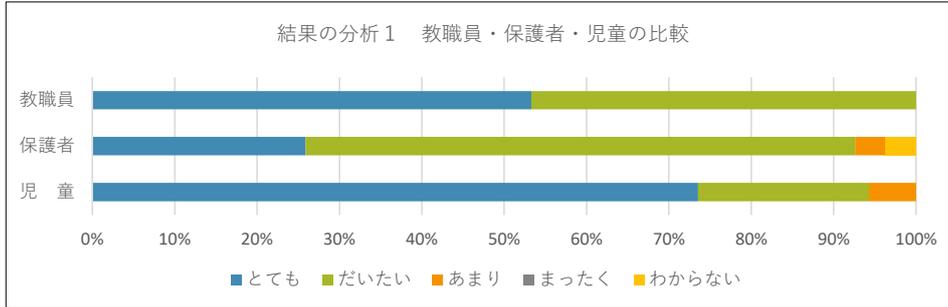
学校評価アンケート結果の分析(1)

めざす学校像①「児童生徒が期待感を持ち、通いたくなる学校」に関する質問

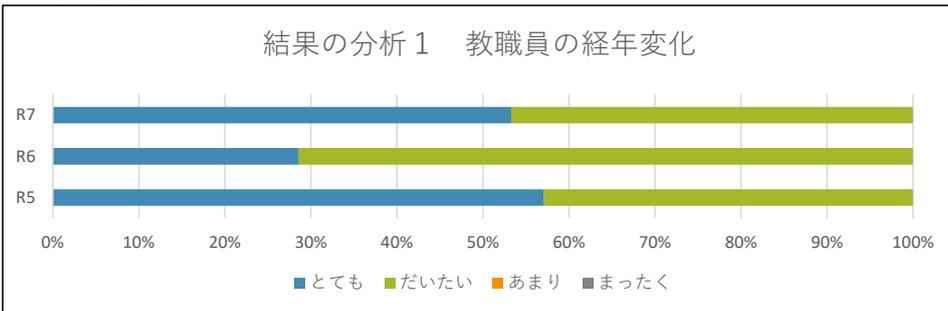
対象	質問番号	質問事項
教職員	1	学校は、子供たちが生き生きと学ぶ教育活動を行っている。
保護者	1	学校は、子供たちが生き生きと学ぶ教育活動(授業・行事等)を行っている。
児童	1	学校は楽しい

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

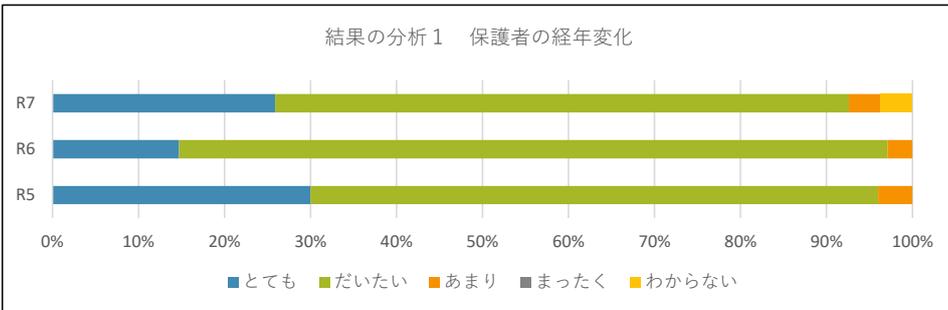
【教職員・保護者・児童の比較】



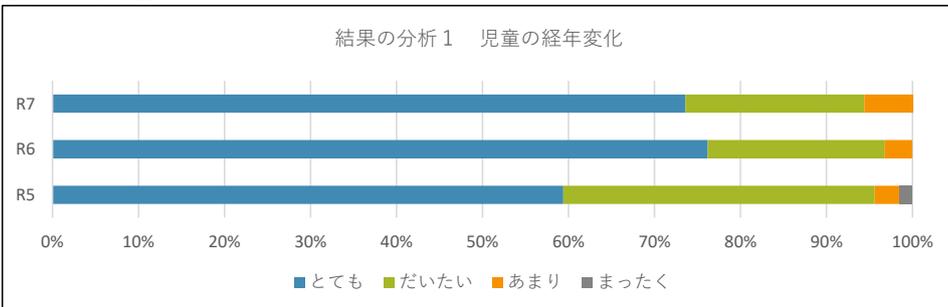
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者とも9割以上の肯定的な意見でした。教職員は、全教育活動を通じて、できる・わかる充実した学びの定着を今後も進めていきます。一方で、昨年度と同じく保護者と児童に否定的な意見が一部にあったことを重く受け止め、教育活動の可視化をさらに加速させ、丁寧な指導を継続していきます。

・経年変化について、保護者においては、「とても」が昨年度よりも上昇しました。本校の教育活動が少しずつ肯定的に認知されている証左と捉え、今後も子供たちに満足できる教育活動の実践の工夫に余地があるととらえ、今後の授業改善等を進めます。

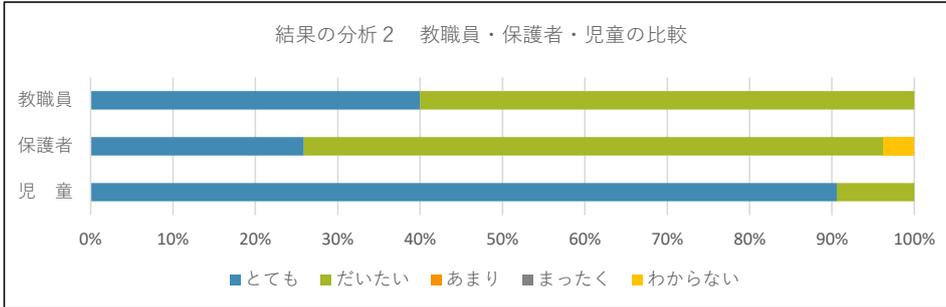
学校評価アンケート結果の分析(2)

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

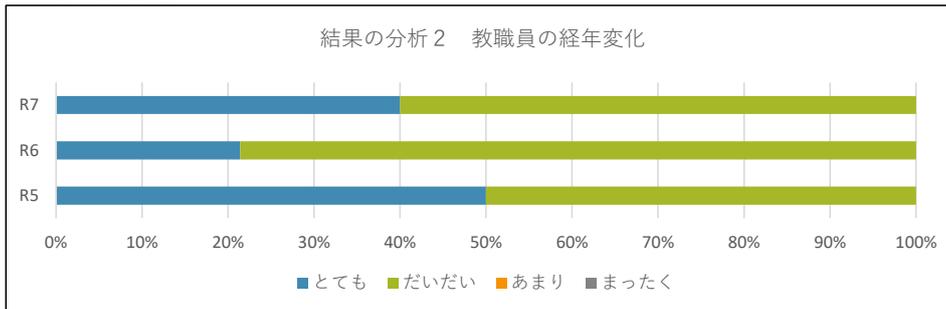
対象	質問番号	質問事項
教職員	2	学校は、子供の自己肯定感を高める教育を行っている。
保護者	2	学校は、子供をほめたり励ましたりして、意欲を引き出す教育をしている。
児童	2	先生は、あなたのことをほめたり、励ましてくれる。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

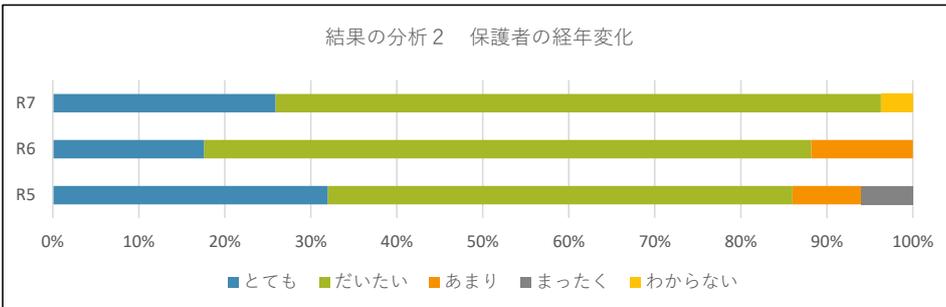
【教職員・保護者・児童の比較】



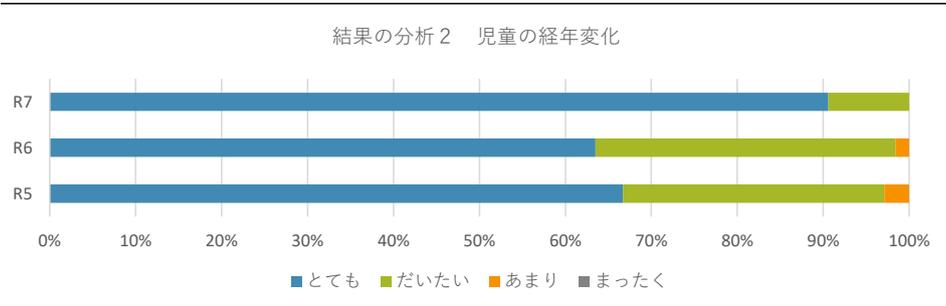
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果の結果と考察〉

・3者とも、肯定的な意見が得られました。今後も「認め励ます指導・支援」をもとに、学習指導と生徒指導の一体化を図りながら、個に応じた指導・支援を行っていきます。
 ・経年変化について、3者とも昨年度よりも数値が上昇しました。特に児童の数値が上がりました。今後も子供の主体的な学びを促進する授業改善、子供自身ができた・わかった・友達に説明できたなどを実感できる学びを校内研修等を通じて高めていきます。

学校評価アンケート結果の分析(3)

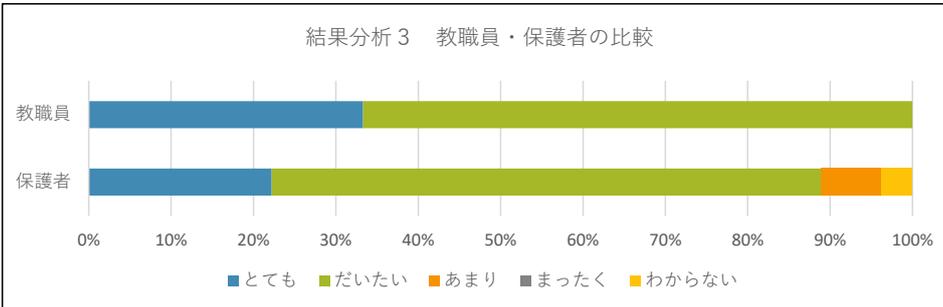
めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

めざす教師像③「家庭・地域との連携・協働を大切に信頼される教師」に関する質問

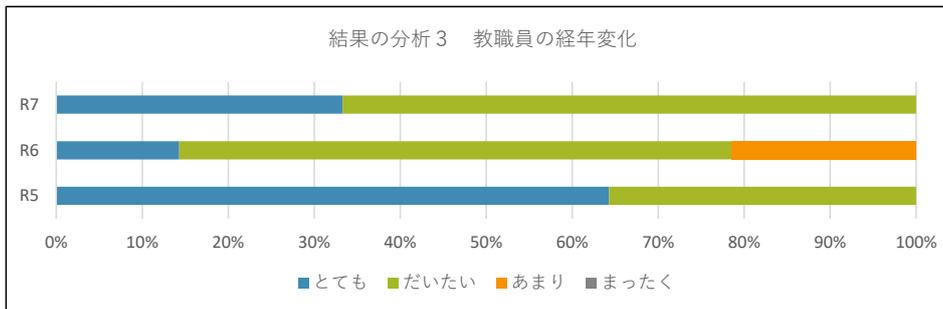
対象	質問番号	質問事項
教職員	3	学校は、子供や保護者の期待に応え、信頼される学校になるよう取り組んでいる。
保護者	3	北村小は、子供や保護者の期待に応え、信頼できる学校である。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

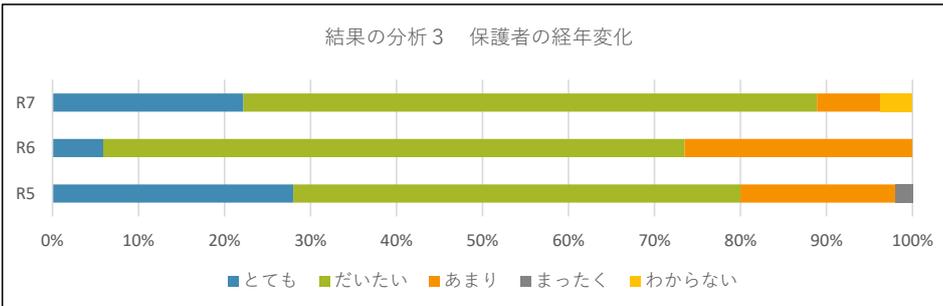
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・2者共に肯定的な意見が約9割以上という結果でした。一方で保護者では約1割に否定的な意見またはわからないという意見が出されました。信頼される学校となるため、今後も日々の教育活動の質の向上、生徒指導の対応等幅広い観点から児童や保護者に丁寧に情報発信の教科等の対応を行って行きます。

・経年変化について、2者共に「とても」の数値が上昇しています。今後も信頼を得られる学校経営を進めていきます。

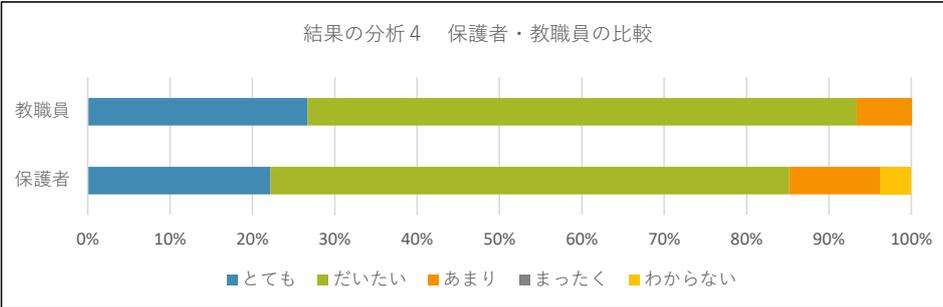
学校評価アンケート結果の分析(4)

めざす学校像③「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

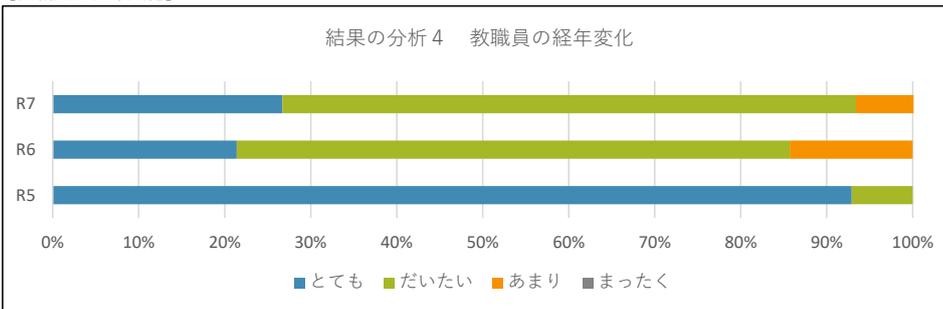
対象	質問番号	質問事項
教職員	4	北村小の教員は、心理的安全性が確保された環境の下でやりがいを持って業務を行っている。
保護者	4	北村小の教員は、笑顔が溢れ、生き生きと子供たちに教育を行っている。(今年度新設項目)
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

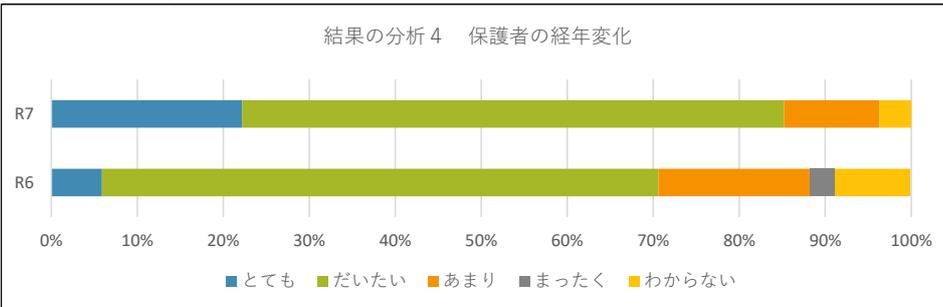
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・2者共に約8割5分以上の肯定的意見が出されました。一方で2者共に否定的な意見が一部に見られました。子供たちの資質・能力を高めるためには、教職員も安心安全な環境で業務を行うことが重要な視点の1つです。そのような環境を整えつつ、今後も肯定的な意見に変容するよう、日々の積み重ねにより心理的安全性を高めていきます。

・否定的な意見が一部ありますが、経年変化について、2者共に昨年度より数値が下降しました。

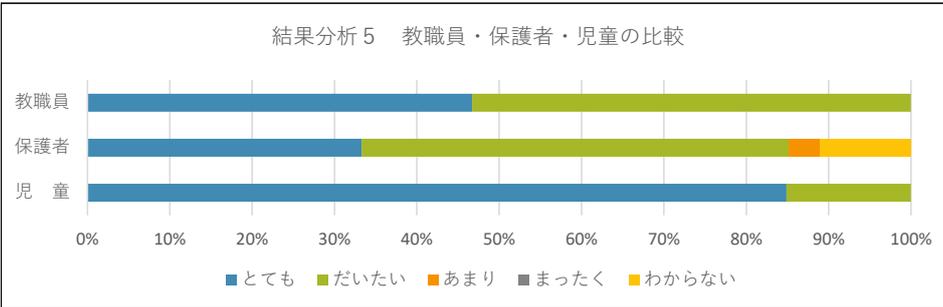
学校評価アンケート結果の分析(5)

めざす教師像①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にできる教師」に関する質問

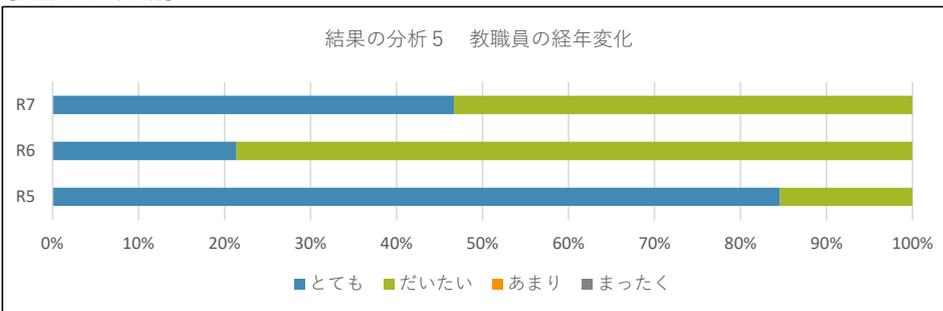
対象	質問番号	質問事項
教職員	5	学校は、子供のことをよく理解し、子供や保護者からの相談に適切に応じている。
保護者	5	学校は、子供の声に耳を傾け、子供や保護者からの相談に適切に応じている。
児童	3	先生は、あなたの話をきちんと聞いたり、声をかけたりしている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

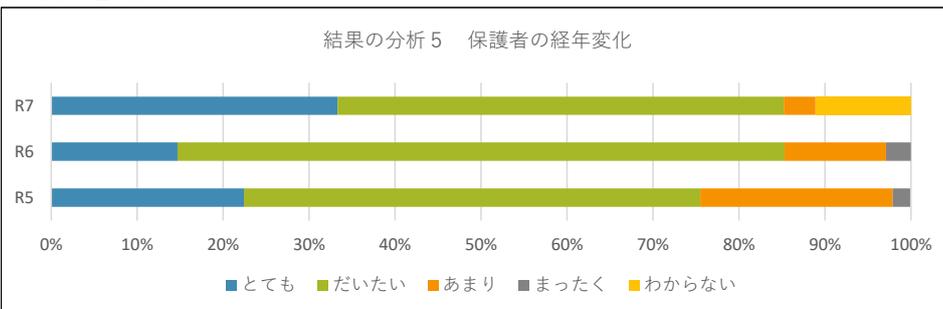
【教職員・保護者・児童の比較】



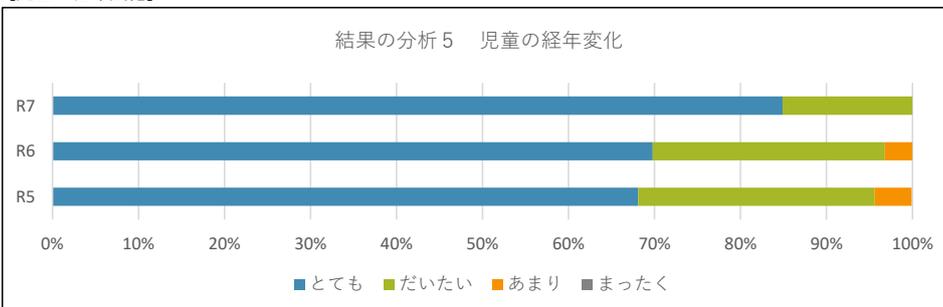
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者共に9割以上の肯定的な意見でした。保護者においては、否定的な意見やわからないという意見が一定数あることから、今後もこれまで以上に、子供の考えに寄り添い、保護者のニーズを丁寧に聞き取りながら対応を迅速に行うなど進めていきます。
 ・経年変化について、「とても」は3者とも上昇しました。3者共に安心できる学校経営、子供が安心できる教室・学校をつくって行きます。

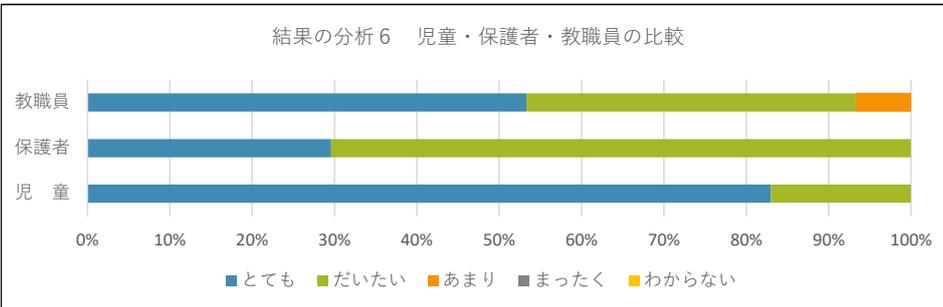
学校評価アンケート結果の分析(6)

めざす教師像②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」に関する質問

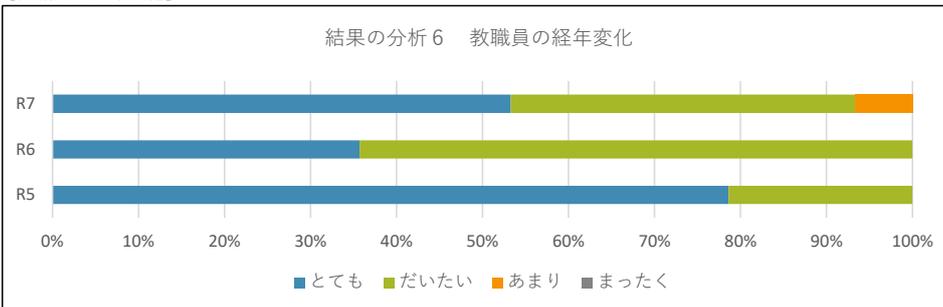
対象	質問番号	質問事項
教職員	6	学校は、ICTの効果的な活用、学びに向かう力の育成、授業改善など、学力向上の取組を行っている。
保護者	6	学校は、学びに向かう力の育成、ICTの効果的な活用(実物をテレビに映す、ipadを使った様々な学習活動等)、授業改善など、学力向上の取組を行っている。
児童	4	授業はわかりやすい。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

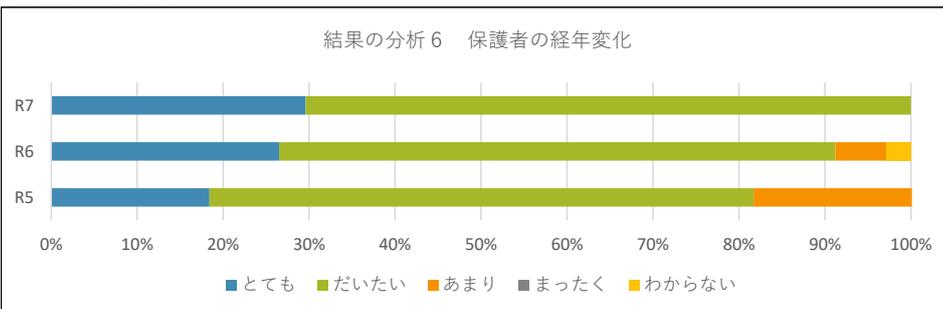
【教職員・保護者・児童の比較】



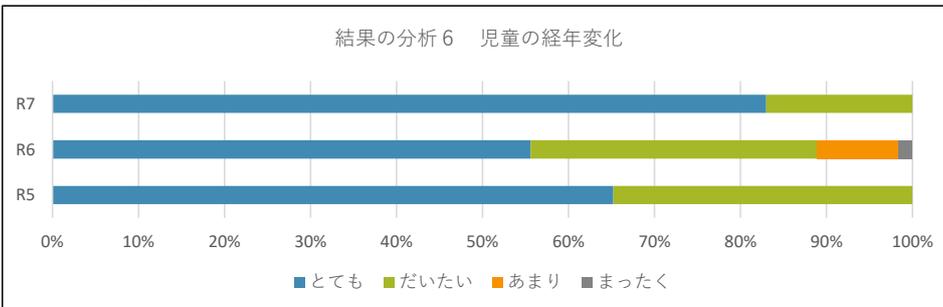
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者共に9割以上の肯定的な意見でした。教職員で一部否定的な意見がありましたが、「もっとICTを活用した授業改善ができるのではないか?」という前向きな意見と推察します。今後も効果的なICTの活用を通したわかる授業、他者と対話が多くなされる授業の構築に今後も努めていきます。また、昨年度児童については授業がわかりやすいかどうかについて、約1割の児童が否定的な意見でしたが今年度はこれが皆無になりました。教員による授業の質の改善が進んでいる証左と考えます。

・経年変化について、3者とも「とても」が上昇しました。今後も効果的な端末の活用などを通して子供の資質・能力を高めていくと共に、これらの実践を多く周知していきます。

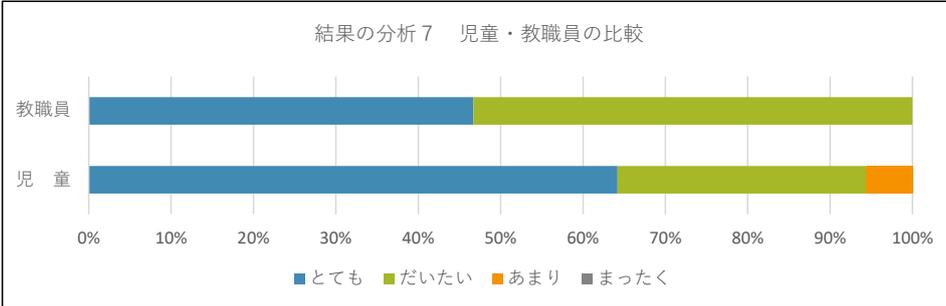
学校評価アンケート結果の分析(7)

めざす教師像②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」に関する質問

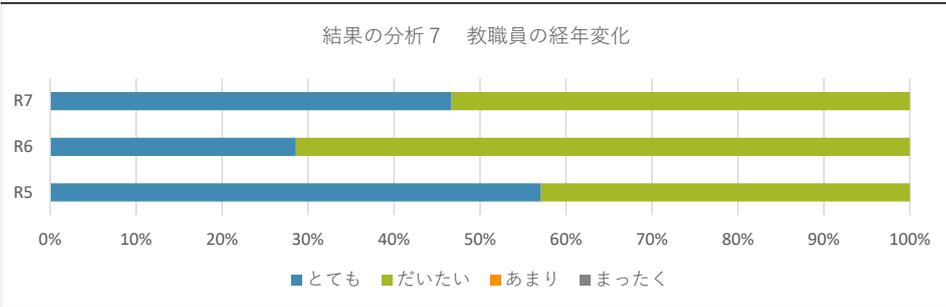
対象	質問番号	質問事項
教職員	7	学校は、授業で主体的に学ぶ態度や対話をする能力の育成、自立した学習者を生み出す授業改善に取り組んでいる。
保護者		なし
児童	5	授業中、友達の話をきちんと聞いて、自分の考えをしっかりと伝えている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

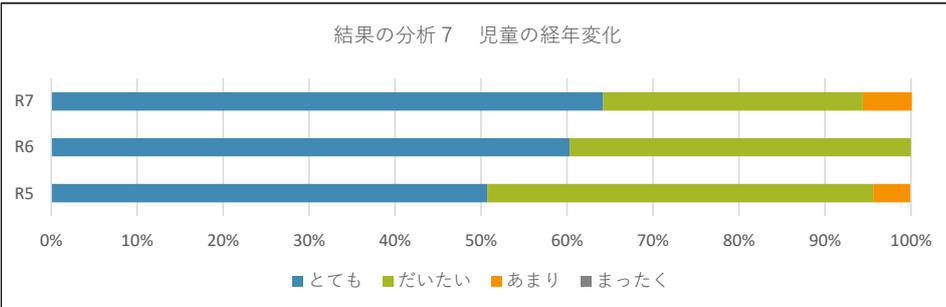
【教職員・児童の比較】



【教職員の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・2者共に9割5分以上の肯定的な意見でした。校内研修等を通して、さらに授業改善の質を高めていきます。
 ・経年変化について、2者とも「とても」の数値が上昇しました。児童の一部に否定的な意見を出していることを考慮し、今後も発言機会や交流場面を増やす授業構成の改善・工夫を行い、児童が学習の成果を実感できる環境を整えて参ります。

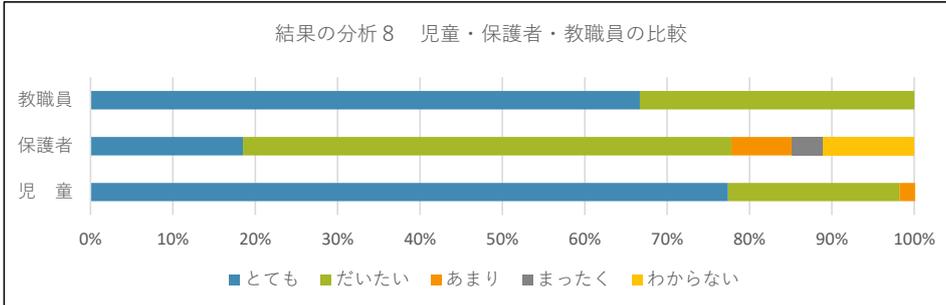
学校評価アンケート結果の分析(8)

めざす児童像②「徳」自分を律し、自他を大切にできる児童」に関する質問

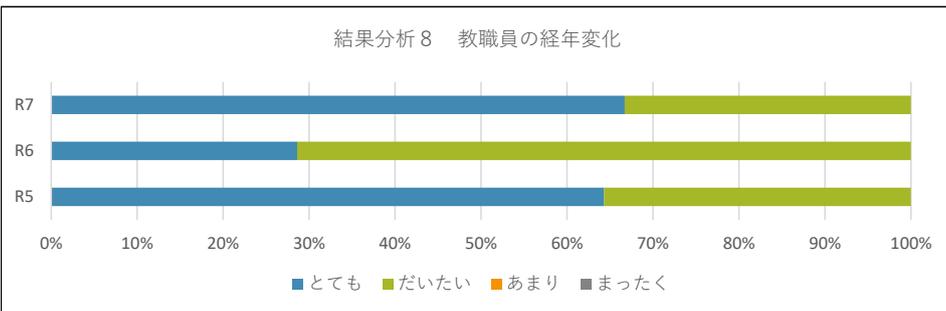
対象	質問番号	質問事項
教職員	8	学校は、「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく集団形成、心の育成に取り組んでいる。
保護者	7	学校は、思いやりや友達を大切にするなど、心の育成を行っている。
児童	6	友達と仲良くすることができる。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

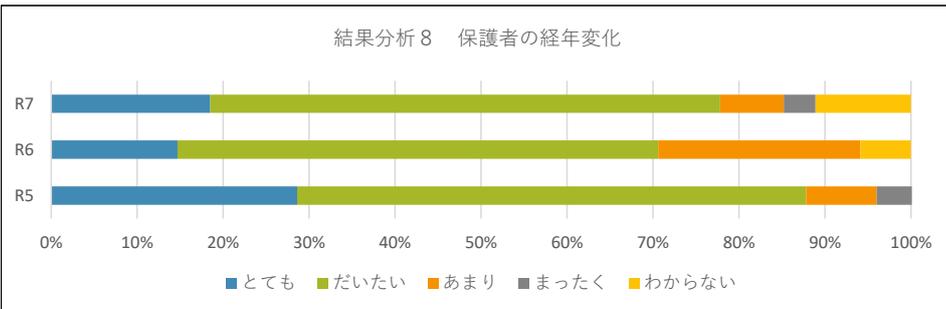
【教職員・保護者・児童の比較】



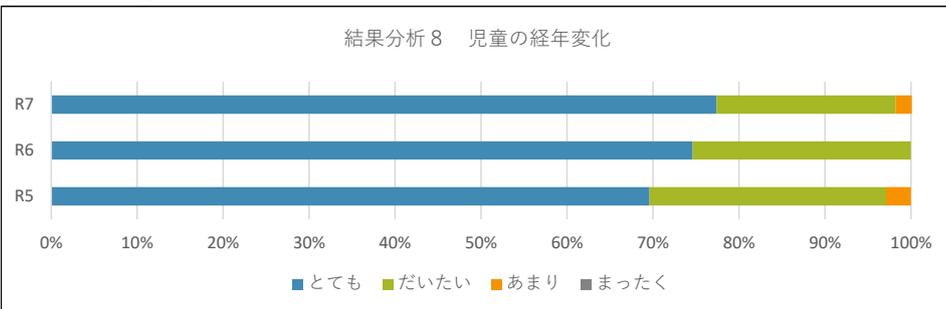
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・児童と教職員はほぼ全員肯定的な意見でした。保護者においては、約1割強が否定的な意見、約1割がわからないという意見でした。昨年度より否定的な意見の数値が下降したものの、心の育成についてまだまだ改善の余地があると受け止めます。日々の教育活動を通してこの数値が改善されるよう実践を積んでいきます。

・経年変化について、3者とも「とても」の数値が上昇しました。友達と仲良く活動を行って行く教育活動が少しずつ浸透していると捉えます。道徳科やピア・サポートの実践を日常的に行い、成果の見られる心の育成を進めていきます。

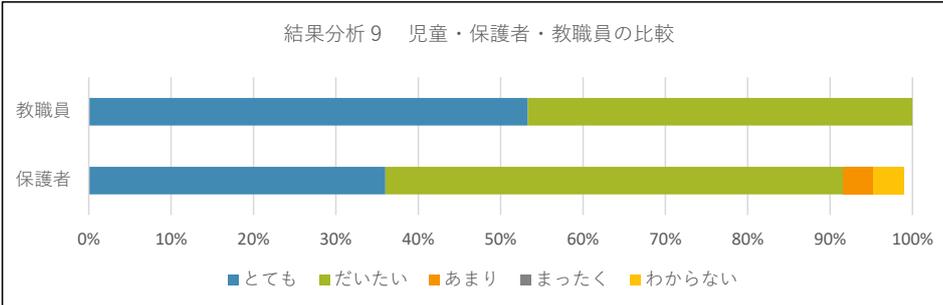
学校評価アンケート結果の分析(9)

めざす児童像②「徳」自分を律し、自他を大切にできる児童」に関する質問

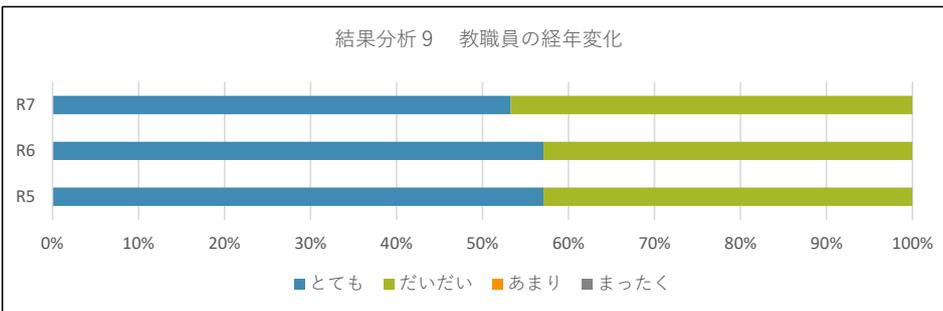
対象	質問番号	質問事項
教職員	9	学校は、子供たちの事故防止、安全確保のための安全教育を行っている。
保護者	8	学校は、子供たちの事故防止、安全確保のための対応をしている。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

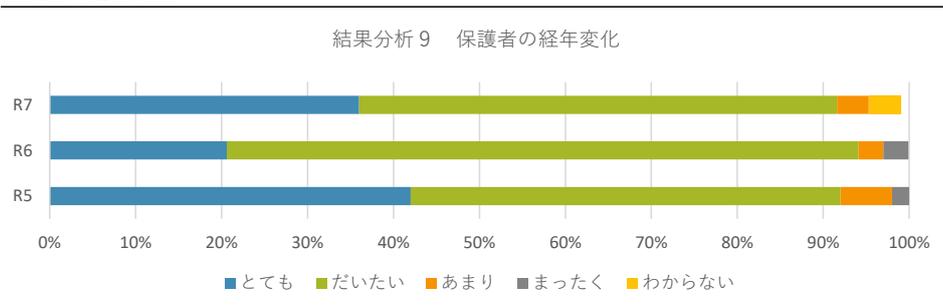
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・2者共に9割以上が肯定的な意見でした。一方で、保護者においては、事故防止等に関して不安がある方が一部にいます。日常的な安全指導や訓練等を通して、一人一人が安全意識を高め行動につなげられるよう取組を行ってまいります。

・経年変化について、保護者においては、肯定的意見の数値が上昇しています。今後も学校安全の取組を積み重ねてまいります。

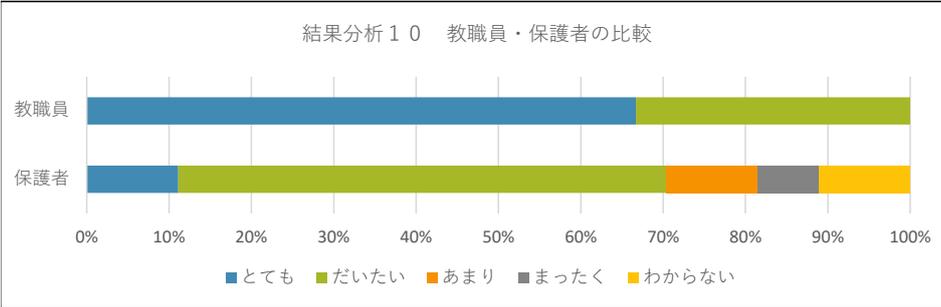
学校評価アンケート結果の分析(10)

経営の重点「最重要項目:学び続ける学校「チームで支える持続可能な協働体制の構築」」に関する質問

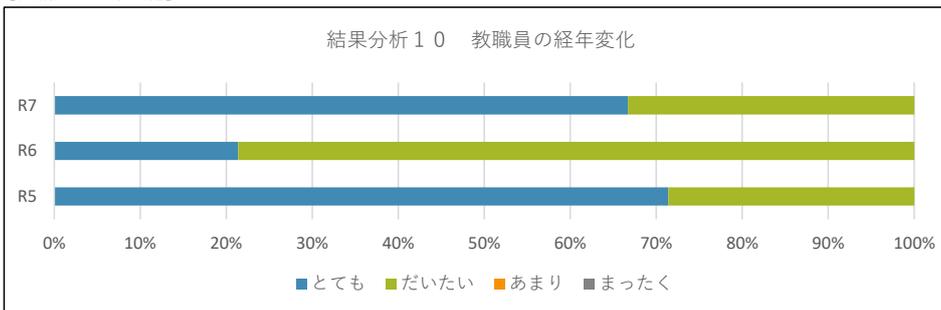
対象	質問番号	質問事項
教職員	10	学校は、いじめや生徒指導上の問題に迅速かつ組織的に対応し、いじめに対する危機管理を徹底している。
保護者	9	学校は、いじめや生徒指導上の問題に素早く適切に対応している。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

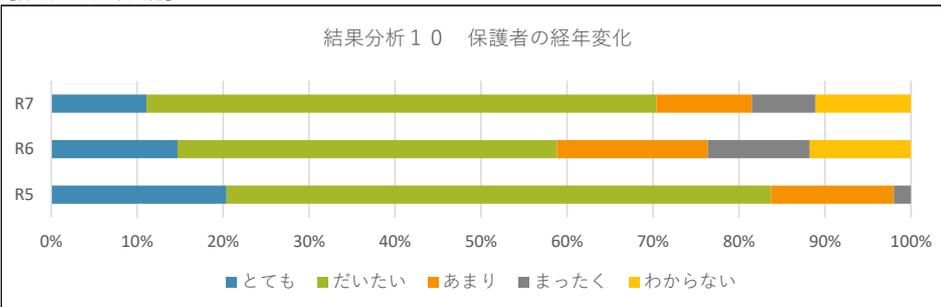
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・保護者においては、約7割の肯定的な意見、約2割の否定的な意見、約1割のわからないという結果でした。今後もいじめや生徒指導上の課題に対し、不安な思いを改善できるよう努めて参ります。疑わしい事案があれば、校内組織を動かし、情報共有し、迅速な対応を行うなど、1つ1つ事案に応じた柔軟な対応を行って行きます。

・経年変化について、肯定的意見全体では昨年度より保護者は上昇しました。また、保護者の否定的意見が少し下がったことから多少学校が取組が認知されてきていると捉えます。

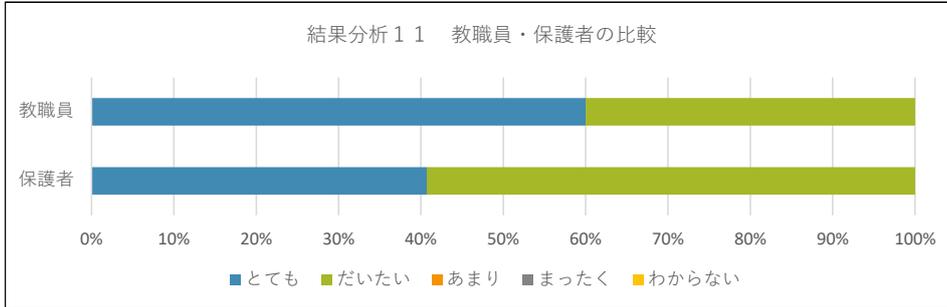
学校評価アンケート結果の分析(11)

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

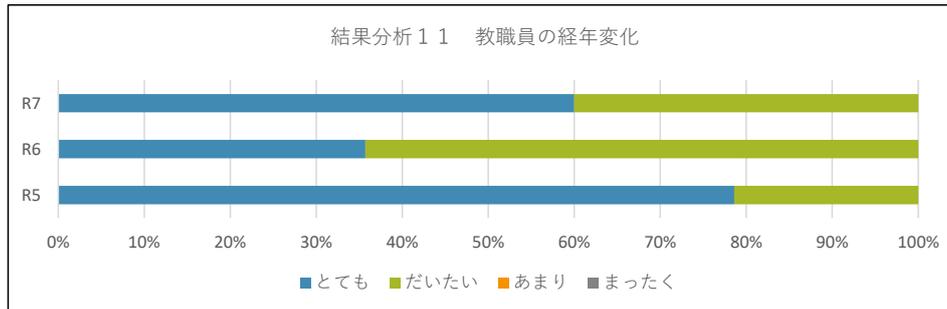
対象	質問番号	質問事項
教職員	11	学校から出される文書や連絡は、わかりやすく伝えられており、教育方針や活動の様子がよくわかる(学年便り、学校便り、テトル等)。
保護者	10	学校から出される文書や連絡は、わかりやすく伝えられており、教育方針や活動の様子がよくわかる(学年便り、学校便り、テトル等)。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

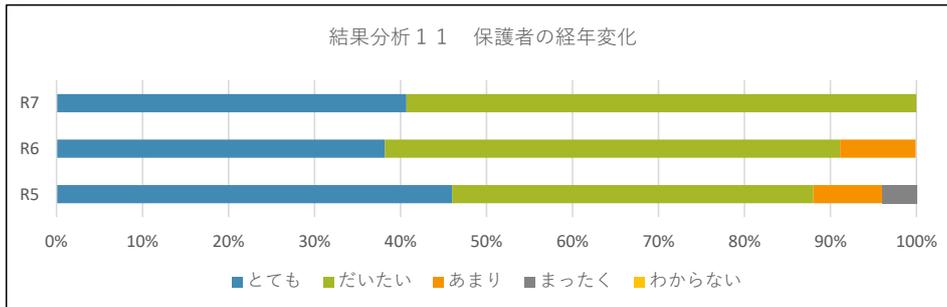
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・2者共にすべての保護者が肯定的な意見でした。今後も各種通信等を通じて可能な限り教育活動をお知らせしていきます。

・経年変化について、保護者は昨年度あった否定的意見が皆無になったことから、学校から発信するお便りの内容や質がさらによくなってきていると捉えます。今後も発信する内容の質や量など工夫を重ねていきます。

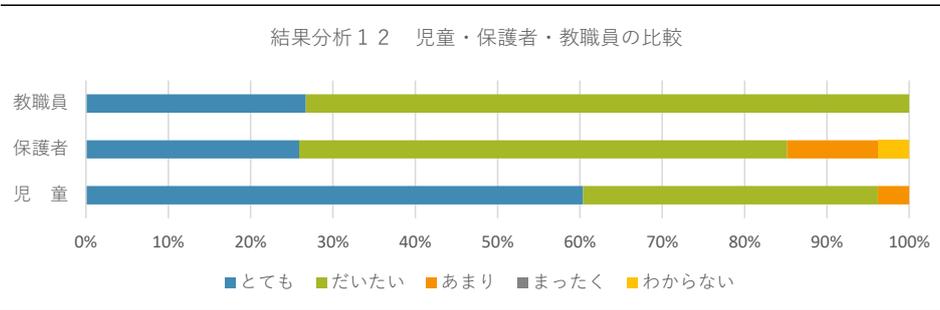
学校評価アンケート結果の分析(12)

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

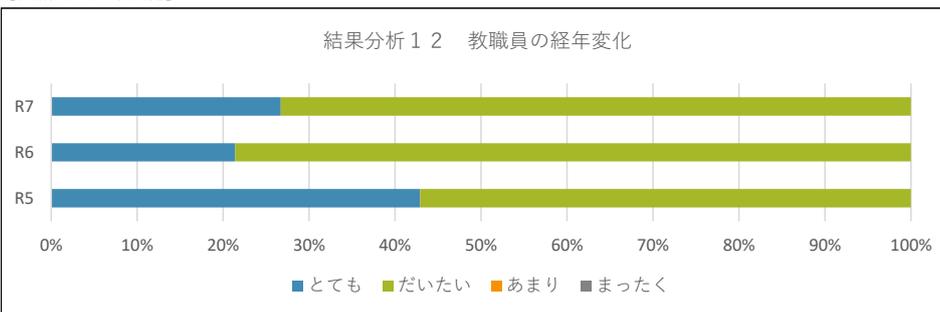
対象	質問番号	質問事項
教職員	12	学校は、地域・保護者と協働し、多様な他者との関わりを通じて「自立する子供(自らの考えを持ち、自身の力で学びを進め深めて行く子供)」の育成に取り組んでいる。
保護者	11	学校は、地域・保護者と協働し、それらの方々との関わりを通じて「自立する子供(自らの考えを持ち、自身の力で学びを進め深めて行く子供)」の育成に取り組んでいる。
児童	7	地域の人との学習を通して、目標(めあて)を持ち、自分で考え、行動している。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

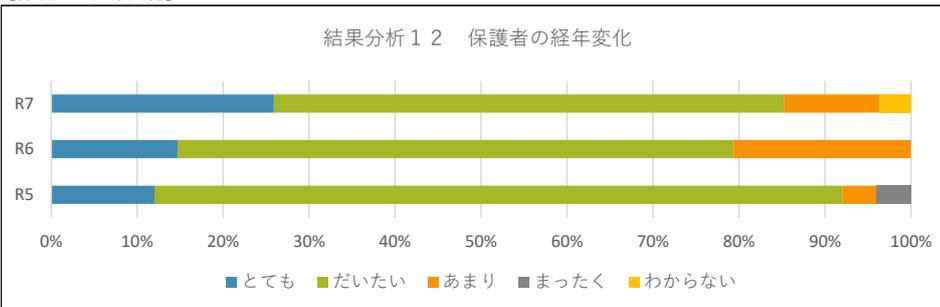
【教職員・保護者・児童の比較】



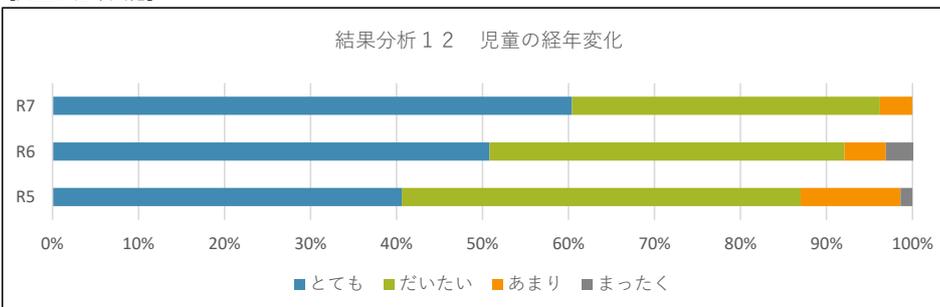
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者とも9割以上の肯定的意見であることから、地域との関わりを大事に捉え、学びを進められていると考えます。一方で、保護者の約1割が「あまり」であることから、「自立」に対する認識が保護者・地域・学校と共有できていない部分があると考えられます。学びを通じて、成果の「見える化」を行うなど、学びの積み上げができるように進めていきます。

・経年変化について、保護者は昨年度2割の否定的意見が今年度は半分に減りました。否定的意見が皆無になるよう、今後も学校運営協議会等と協働した質の高い教育活動を進めていきます。

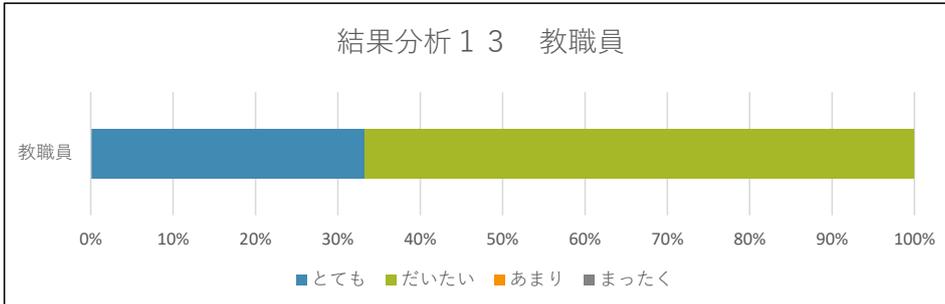
学校評価アンケート結果の分析(13)

めざす教師像②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」に関する質問

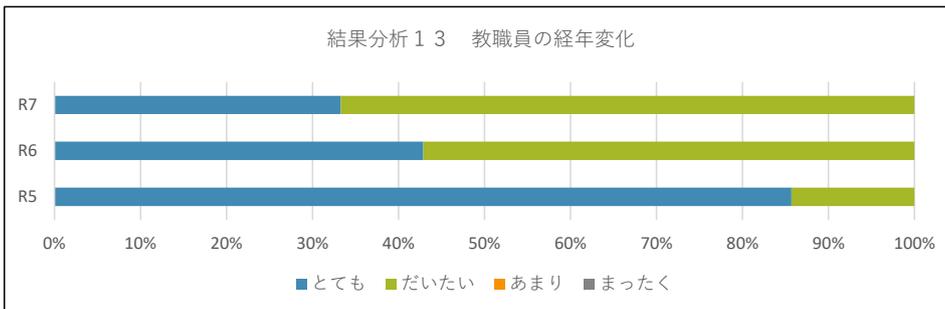
対象	質問番号	質問事項
教職員	13	北村小は、組織的に業務を推進できる教職員集団である。
保護者		なし
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 (保護者のみ設定)

【教職員のグラフ】



【教職員の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・教職員は、全て肯定的な意見でした。
 ・経年変化について、年々「とても」の数値が下降していることから、組織的業務の質向上、働き方改革の実効性など業務分担の見直し、協働の仕組みの改善を進めていきます。

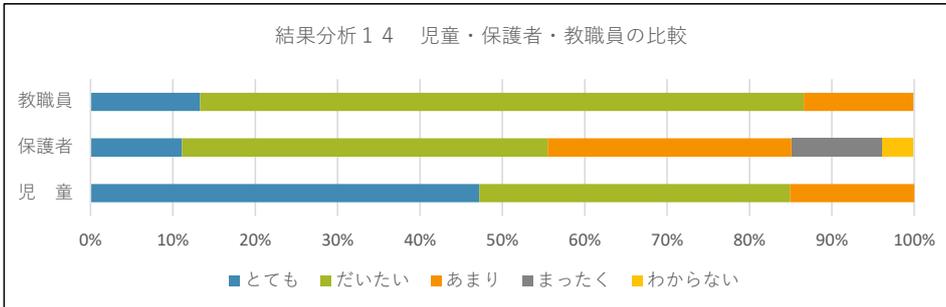
学校評価アンケート結果の分析(14)

家庭教育の観点による質問①

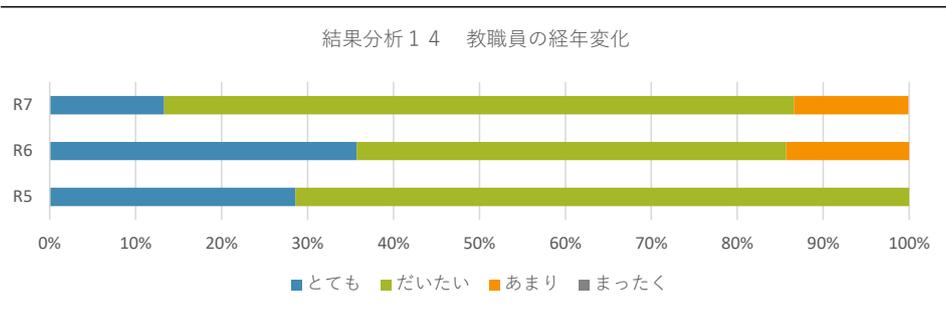
対象	質問番号	質問事項
教職員	14	学校は、保護者の協力を得ながら、家庭学習の充実に取り組んでいる。
保護者	12	お子様は、家庭学習の習慣がある。(お子様が複数いらっしゃる場合は、お子様全員の様子からその傾向をお答えください。)
児童	8	家で勉強をしている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

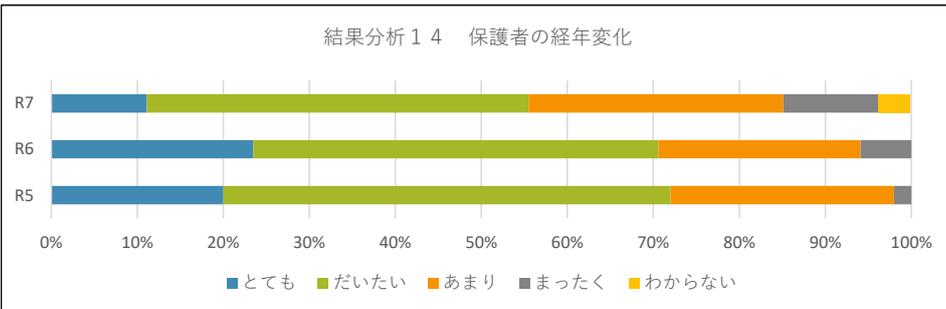
【教職員・保護者・児童の比較】



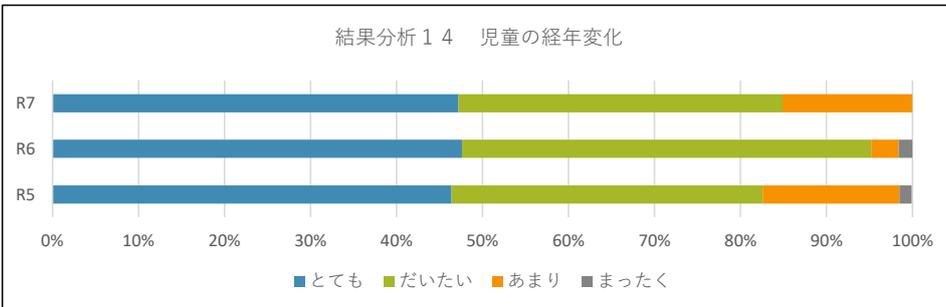
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



【アンケート結果と考察】

家庭学習の取組について傾向がわかる結果となりました。教職員はさらに保護者と共に子供たちの家庭学習の充実を図りたいこと、保護者の約4割は家庭学習の習慣について否定的に捉えていること、児童の約8割5分の児童は家庭学習を家でしていると認識していることがわかりました。今年度も、子供は家庭学習を十分にしているという認識であるが、保護者はそう思っていないという考察ができます。個に応じた家庭学習の出し方や質・量など学年の実態に応じた家庭での学習について今後学校でも精査を図っていきます。

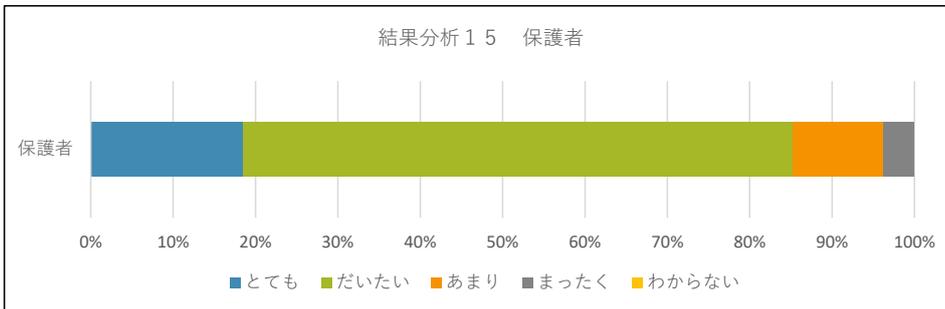
学校評価アンケート結果の分析(15)

家庭教育の観点による質問②

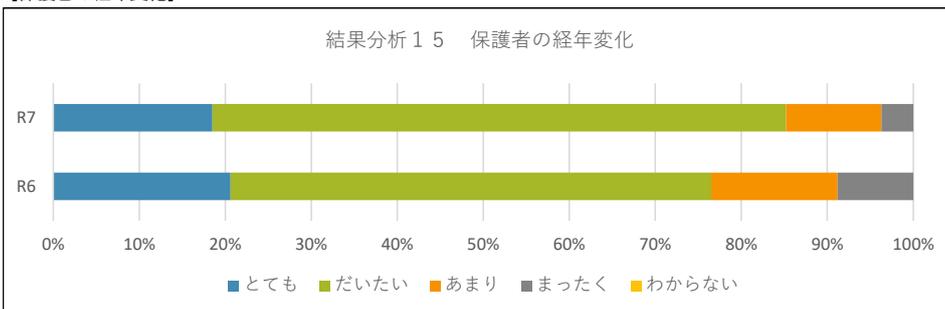
対象	質問番号	質問事項
教職員		なし
保護者	13	家庭では、お子様と、インターネット、ゲーム、テレビ、スマートフォン等デジタル機器の使用時間等のルールを決めている。(今年度新設項目)
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

【保護者のグラフ】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

保護者の約8割が肯定的な意見でした。一方で、昨年度より若干否定的な数値が下がりました。



学校教育目標 **もとめる子 思いやる子 やりぬく子 きたえる子**

臨時号

岩見沢市立北村小学校
令和7年12月22日 発行

学校だより

令和7年度 学校評価アンケート結果分析の報告

過日、保護者の皆様には、本校の教育についてのアンケート(学校評価アンケート)にご協力いただきましてありがとうございました。アンケートの結果および学校改善の方向性などをまとめ、以下にお示しいたします。今後ともより良い教育活動を提供するため工夫改善してまいります。本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

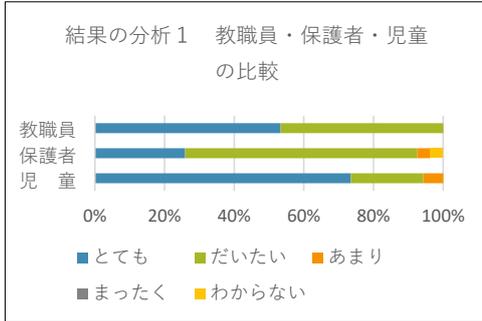
学校評価アンケート結果の分析(1)

めざす学校像①「児童生徒が期待感を持ち、通いたくなる学校」に関する質問

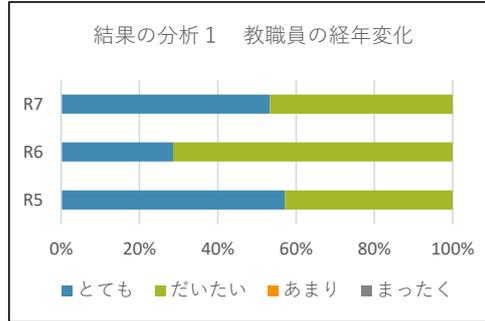
対象	質問番号	質問事項
教職員	1	学校は、子供たちが生き生きと学ぶ教育活動を行っている。
保護者	1	学校は、子供たちが生き生きと学ぶ教育活動(授業・行事等)を行っている。
児童	1	学校は楽しい

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

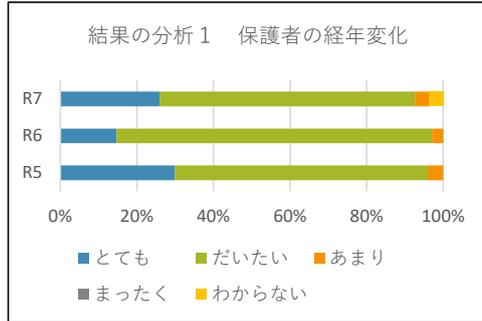
【教職員・保護者・児童の比較】



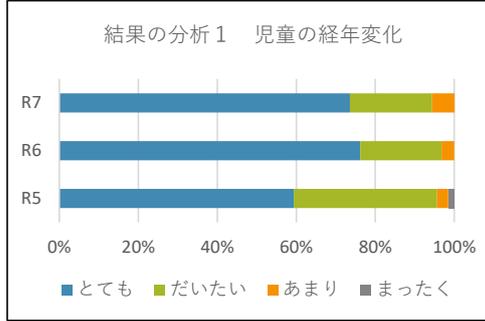
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者とも9割以上の肯定的な意見でした。教職員は、全教育活動を通じて、できる・わかる充実した学びの定着を今後も進めていきます。一方で、昨年度と同じく保護者と児童に否定的な意見が一部にあったことを重く受け止め、教育活動の可視化をさらに加速させ、丁寧な指導を継続していきます。

・経年変化について、保護者においては、「とても」が昨年度よりも上昇しました。本校の教育活動が少しずつ肯定的に認知されている証左と捉え、今後も子供たちに満足できる教育活動の実践の工夫に余地があるととらえ、今後の授業改善等を進めます。

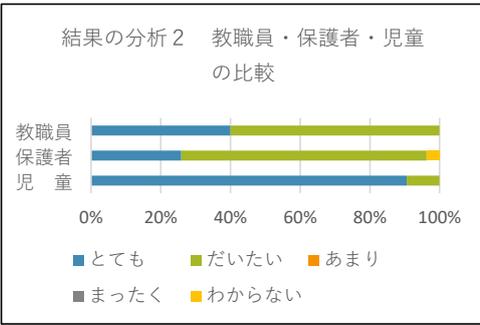
学校評価アンケート結果の分析(2)

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

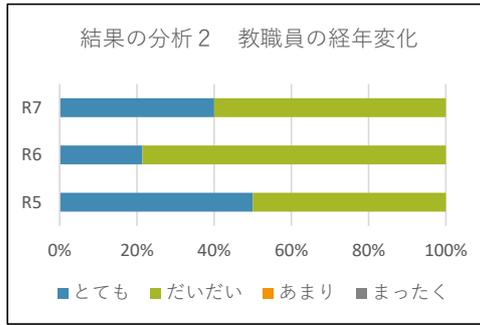
対象	質問番号	質問事項
教職員	2	学校は、子供の自己肯定感を高める教育を行っている。
保護者	2	学校は、子供をほめたり励ましたりして、意欲を引き出す教育をしている。
児童	2	先生は、あなたのことをほめたり、励ましてくれる。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

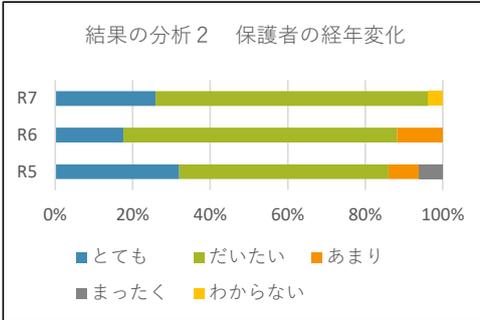
【教職員・保護者・児童の比較】



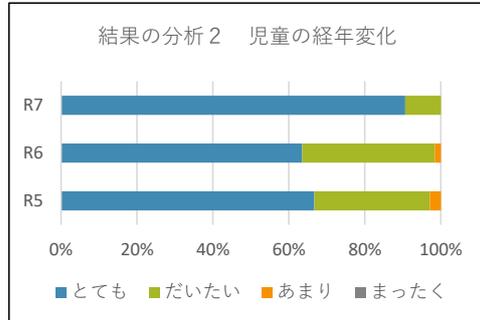
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果の結果と考察〉

・3者とも、肯定的な意見が得られました。今後も「認め励ます指導・支援」をもとに、学習指導と生徒指導の一体化を図りながら、個に応じた指導・支援を行っていきます。
 ・経年変化について、3者とも昨年度よりも数値が上昇しました。特に児童の数値が上がりました。今後も子供の主体的な学びを促進する授業改善、子供自身ができた・わかった・友達に説明できたなどを実感できる学びを校内研修等を通じて高めていきます。

学校評価アンケート結果の分析(3)

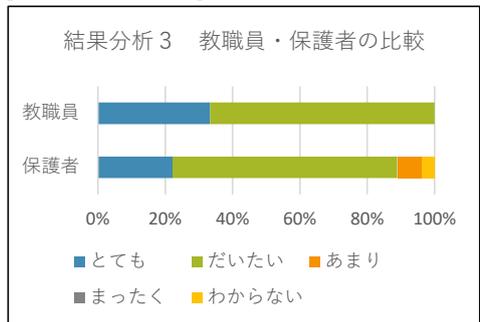
めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

めざす教師像③「家庭・地域との連携・協働を大切に信頼される教師」に関する質問

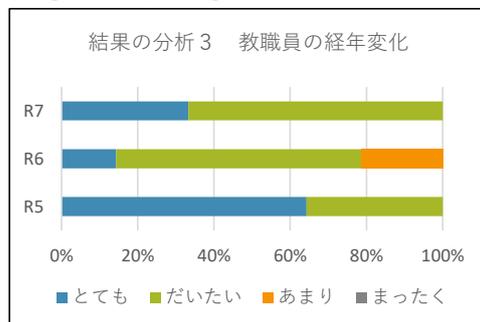
対象	質問番号	質問事項
教職員	3	学校は、子供や保護者の期待に応え、信頼される学校になるよう取り組んでいる。
保護者	3	北村小は、子供や保護者の期待に応え、信頼できる学校である。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

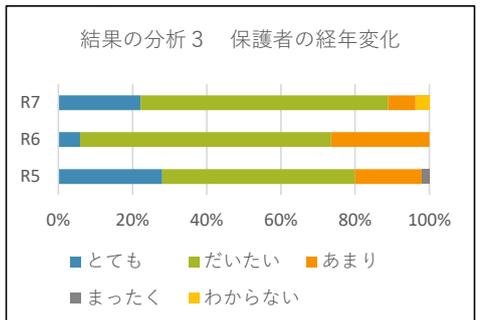
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑3,4年枝豆収穫の様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に肯定的な意見が約9割以上という結果でした。一方で保護者では約1割に否定的な意見またはわからないという意見が出されました。信頼される学校となるため、今後も日々の教育活動の質の向上、生徒指導の対応等幅広い観点から児童や保護者に丁寧に情報発信の教科等の対応を行って行きます。
 ・経年変化について、2者共に「とても」の数値が上昇しています。今後も信頼を得られる学校経営を進めていきます。

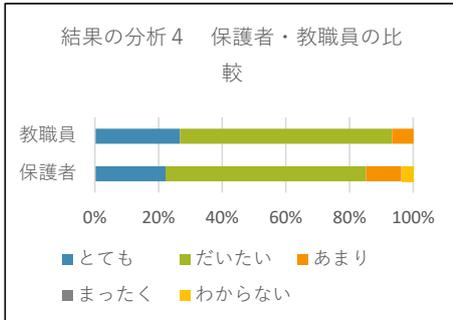
学校評価アンケート結果の分析(4)

めざす学校像③「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

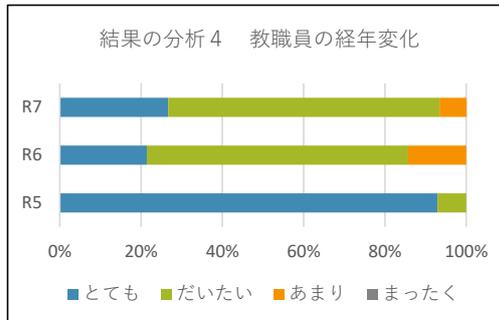
対象	質問番号	質問事項
教職員	4	北村小の教員は、心理的安全性が確保された環境の下でやりがいを持って業務を行っている。
保護者	4	北村小の教員は、笑顔が溢れ、生き生きと子供たちに教育を行っている。(今年度新設項目)
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

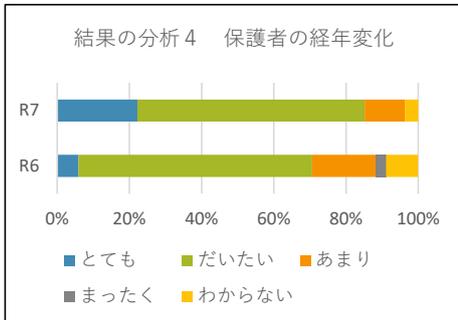
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑5年宿泊学習の様子(夕食)

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に約8割5分以上の肯定的意見が出されました。一方で2者共に否定的な意見が一部に見られました。子供たちの資質・能力を高めるためには、教職員も安心安全な環境で業務を行うことが重要な視点の1つです。そのような環境を整えつつ、今後も肯定的な意見に変容するよう、日々の積み重ねにより心理的安全性を高めていきます。
 ・否定的な意見が一部にありますが、経年変化について、2者共に昨年度より数値が下降しました。

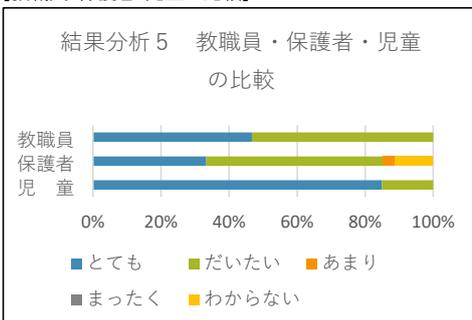
学校評価アンケート結果の分析(5)

めざす教師像①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師」に関する質問

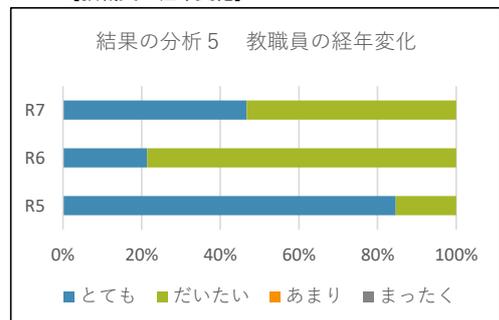
対象	質問番号	質問事項
教職員	5	学校は、子供のことをよく理解し、子供や保護者からの相談に適切に応じている。
保護者	5	学校は、子供の声に耳を傾け、子供や保護者からの相談に適切に応じている。
児童	3	先生は、あなたの話をきちんと聞いたり、声をかけたりしている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

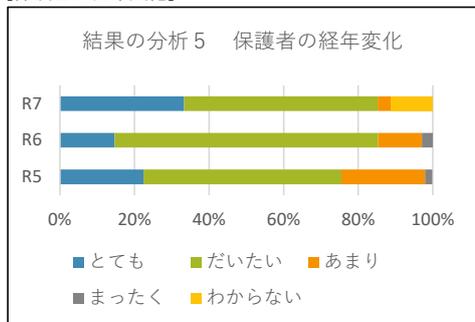
【教職員・保護者・児童の比較】



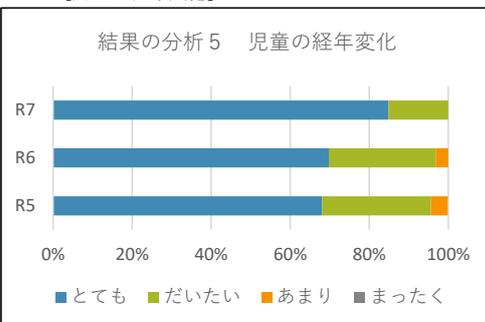
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者共に9割以上の肯定的な意見でした。保護者においては、否定的な意見やわからないという意見が一定数あることから、今後もこれまで以上に、子供の考えに寄り添い、保護者のニーズを丁寧に聞き取りながら対応を迅速に行うなど進めていきます。
 ・経年変化について、「とても」は3者とも上昇しました。3者共に安心できる学校経営、子供が安心できる教室・学校をつつていきます。

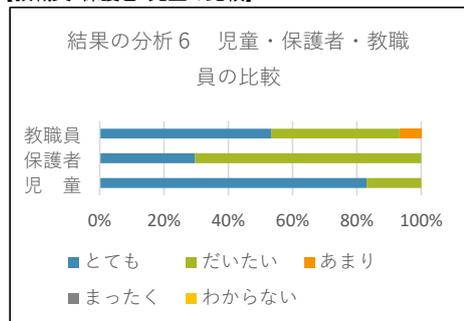
学校評価アンケート結果の分析(6)

めざす教師像②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」に関する質問

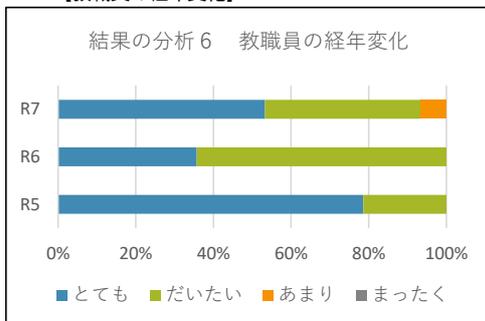
対象	質問番号	質問事項
教職員	6	学校は、ICTの効果的な活用、学びに向かう力の育成、授業改善など、学力向上の取組を行っている。
保護者	6	学校は、学びに向かう力の育成、ICTの効果的な活用(実物をテレビに映す、ipadを使った様々な学習活動等)、授業改善など、学力向上の取組を行っている。
児童	4	授業はわかりやすい。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

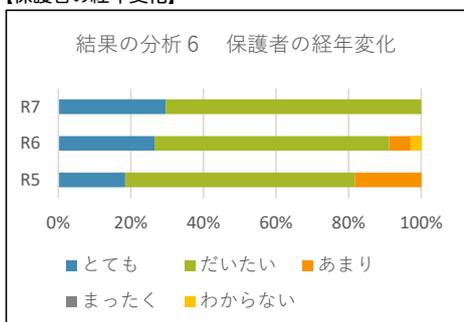
【教職員・保護者・児童の比較】



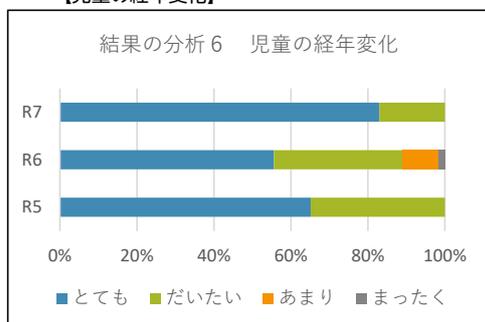
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者共に9割以上の肯定的な意見でした。教職員で一部否定的な意見がありましたが、「もっとICTを活用した授業改善ができるのではないか？」という前向きな意見と推察します。今後も効果的なICTの活用を通したわかる授業、他者と対話が多くなされる授業の構築に今後も努めていきます。また、昨年度児童については授業がわかりやすいかどうかについて、約1割の児童が否定的な意見でしたが今年度はこれが皆無になりました。教員による授業の質の改善が進んでいる証左と考えます。
 ・経年変化について、3者とも「とても」が上昇しました。今後も効果的な端末の活用などを通して子供の資質・能力を高めていくと共に、これらの実践を多く周知していきます。

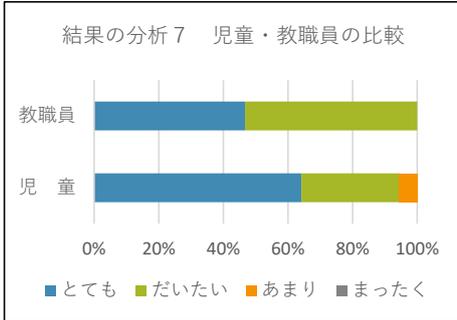
学校評価アンケート結果の分析(7)

めざす教師像②「授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師」に関する質問

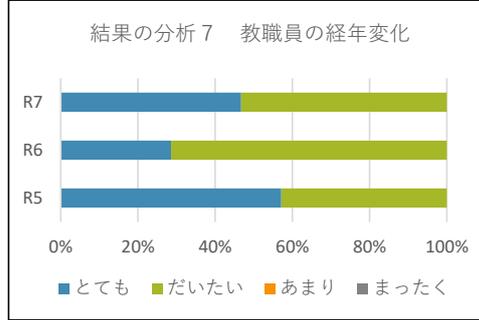
対象	質問番号	質問事項
教職員	7	学校は、授業で主体的に学ぶ態度や対話をする能力の育成、自立した学習者を生み出す授業改善に取り組んでいる。
保護者		なし
児童	5	授業中、友達の話さきちんと聞いて、自分の考えをしっかりと伝えている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

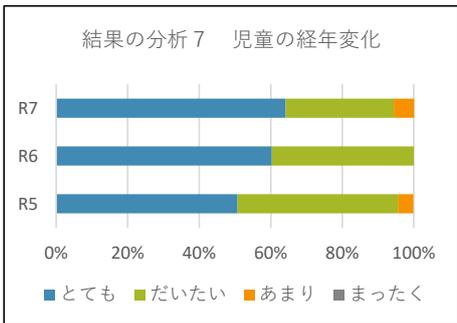
【教職員・児童の比較】



【教職員の経年変化】



【児童の経年変化】



↑1,2年体育の様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に9割5分以上の肯定的な意見でした。校内研修等を通して、さらに授業改善の質を高めていきます。
 ・経年変化について、2者とも「とても」の数値が上昇しました。児童の一部に否定的な意見を出していることを考慮し、今後も発言機会や交流場を増やす授業構成の改善・工夫を行い、児童が学習の成果を実感できる環境を整えて参ります。

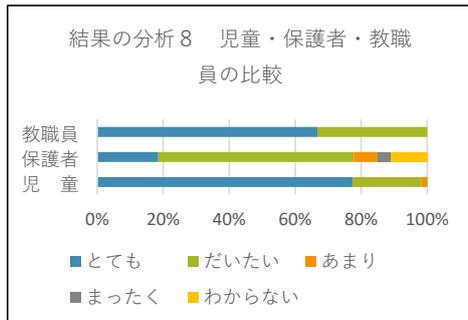
学校評価アンケート結果の分析(8)

めざす児童像②「[徳]自分を律し、自他を大切にできる児童」に関する質問

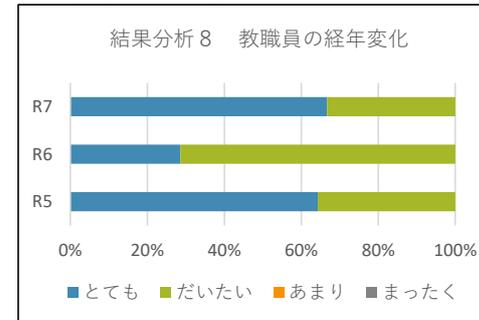
対象	質問番号	質問事項
教職員	8	学校は、「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく集団形成、心の育成に取り組んでいる。
保護者	7	学校は、思いやりや友達を大切にするなど、心の育成を行っている。
児童	6	友達と仲良くすることができる。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

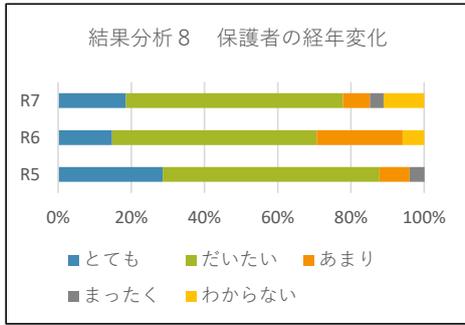
【教職員・保護者・児童の比較】



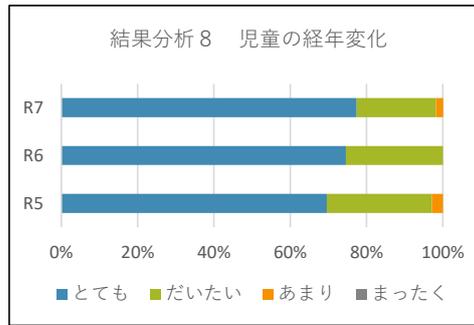
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・児童と教職員はほぼ全員肯定的な意見でした。保護者においては、約1割強が否定的な意見、約1割がわからないという意見でした。昨年度より否定的な意見の数値が下降したものの、心の育成についてまだまだ改善の余地があると受け止めます。日々の教育活動を通してこの数値が改善されるよう実践を積んでいきます。

・経年変化について、3者とも「とても」の数値が上昇しました。友達と仲良く活動を行って行く教育活動が少しずつ浸透していると捉えます。道徳科やピア・サポートの実践を日常的に行い、成果の見られる心の育成を進めていきます。

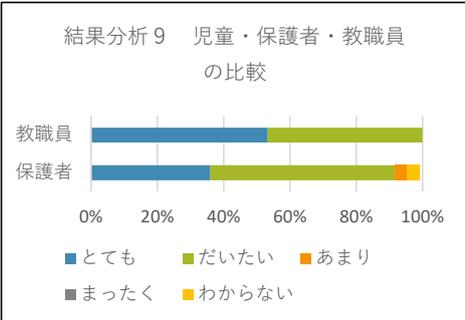
学校評価アンケート結果の分析(9)

めざす児童像②「徳」自分を律し、自他を大切にできる児童」に関する質問

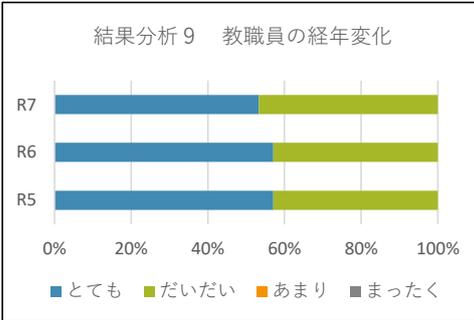
対象	質問番号	質問事項
教職員	9	学校は、子供たちの事故防止、安全確保のための安全教育を行っている。
保護者	8	学校は、子供たちの事故防止、安全確保のための対応をしている。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

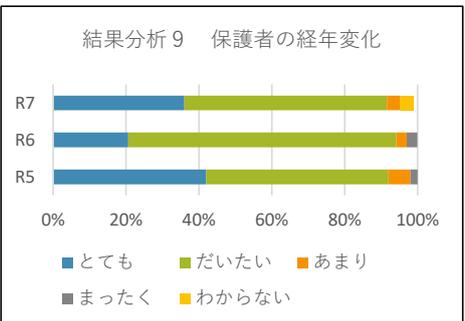
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑6年参観日の様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共に9割以上が肯定的な意見でした。一方で、保護者においては、事故防止等に関して不安がある方が一部にいると捉えます。日常の安全指導や訓練等を通して、一人一人が安全意識を高め行動につなげられるよう取組を行って行きます。

・経年変化について、保護者においては、肯定的意見の数値が上昇しています。今後も学校安全の取組を積み重ねていきます。

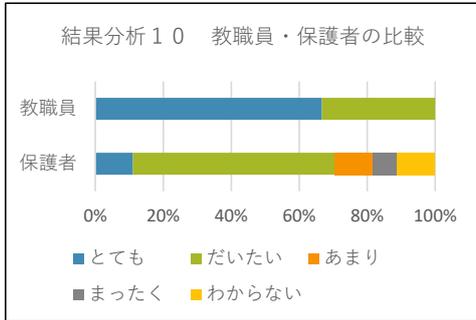
学校評価アンケート結果の分析<10>

経営の重点『最重点項目：学び続ける学校「チームで支える持続可能な協働体制の構築」』に関する質問

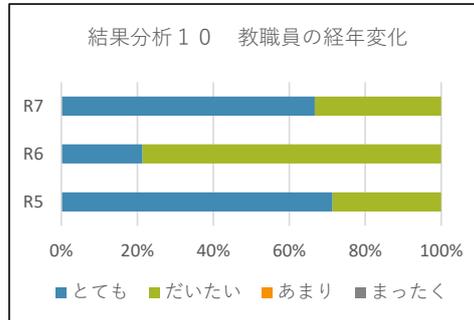
対象	質問番号	質問事項
教職員	10	学校は、いじめや生徒指導上の問題に迅速かつ組織的に対応し、いじめに対する危機管理を徹底している。
保護者	9	学校は、いじめや生徒指導上の問題に素早く適切に対応している。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

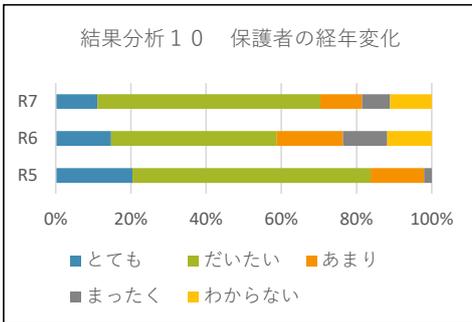
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑1年生を迎える会の様子

〈アンケート結果と考察〉

・保護者においては、約7割の肯定的な意見、約2割の否定的な意見、約1割のわからないという結果でした。今後もいじめや生徒指導上の課題に対し、不安な思いを改善できるよう努めて参ります。疑わしい事案があれば、校内組織を動かし、情報共有し、迅速な対応を行うなど、1つ1つ事案に応じた柔軟な対応を行って行きます。
 ・経年変化について、肯定的意見全体では昨年度より保護者は上昇しました。また、保護者の否定的意見が少し下がったことから少しずつ学校の取組が認知されてきていると捉えます。

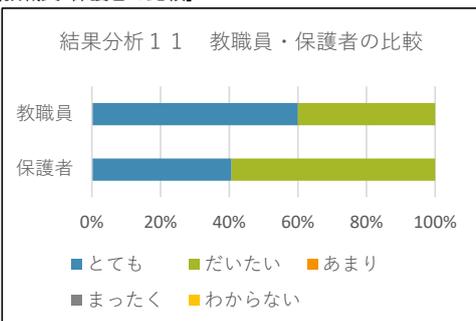
学校評価アンケート結果の分析<11>

めざす学校像②「家庭・地域が応援しなくなる学校」に関する質問

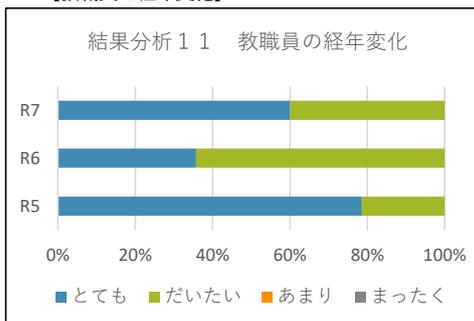
対象	質問番号	質問事項
教職員	11	学校から出される文書や連絡は、わかりやすく伝えられており、教育方針や活動の様子がよくわかる(学年便り、学校便り、テトル等)。
保護者	10	学校から出される文書や連絡は、わかりやすく伝えられており、教育方針や活動の様子がよくわかる(学年便り、学校便り、テトル等)。
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

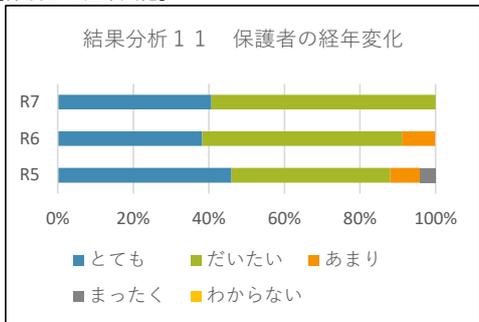
【教職員・保護者の比較】



【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



↑田植えの様子

〈アンケート結果と考察〉

・2者共にすべての保護者が肯定的な意見でした。今後も各種通信等を通じて可能な限り教育活動をお知らせしていきます。
 ・経年変化について、保護者は昨年度あった否定的意見が皆無になったことから、学校から発信するお便りの内容や質がさらによくなってきていると捉えます。今後も発信する内容の質や量など工夫を重ねていきます。

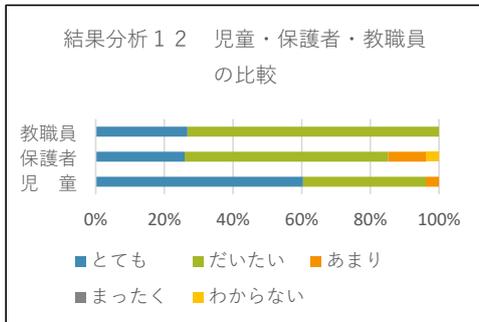
学校評価アンケート結果の分析(12)

めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

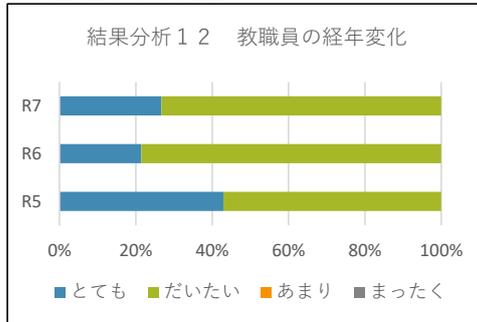
対象	質問番号	質問事項
教職員	12	学校は、地域・保護者と協働し、多様な他者との関わりを通じて「自立する子供(自らの考えを持ち、自身の力で学びを進め深めて行く子供)」の育成に取り組んでいる。
保護者	11	学校は、地域・保護者と協働し、それの方々との関わりを通じて「自立する子供(自らの考えを持ち、自身の力で学びを進め深めて行く子供)」の育成に取り組んでいる。
児童	7	地域のひととの学習を通して、目標(めあて)を持ち、自分で考え、行動している。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

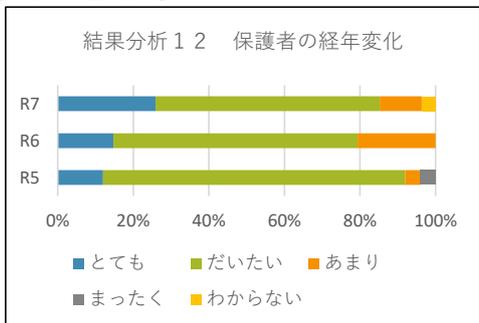
【教職員・保護者・児童の比較】



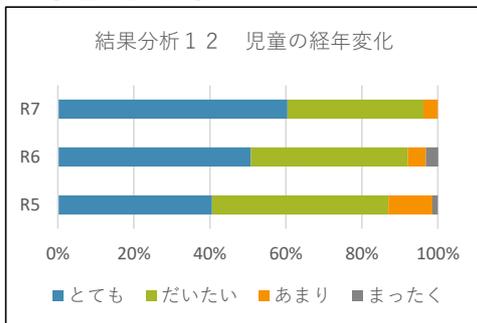
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

・3者とも9割以上の肯定的意見であることから、地域との関わりを大事に捉え、学びを進められていると考えます。一方で、保護者の約1割が「あまり」であることから、「自立」に対する認識が保護者・地域・学校と共有できていない部分があると考えられます。学びを通じて、成果の「見える化」を行うなど、学びの積み上げができるように進めていきます。
 ・経年変化について、保護者は昨年度2割の否定的意見が今年度は半分に減りました。否定的意見が皆無になるよう、今後も学校運営協議会等と協働した質の高い教育活動を進めていきます。

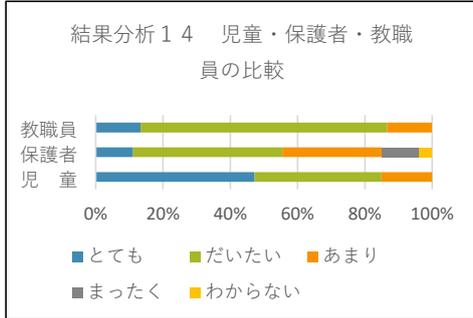
学校評価アンケート結果の分析(13)

家庭教育の観点による質問①

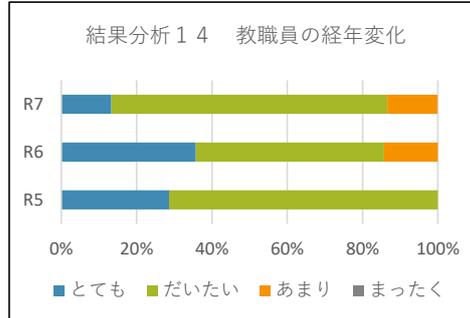
対象	質問番号	質問事項
教職員	14	学校は、保護者の協力を得ながら、家庭学習の充実に取り組んでいる。
保護者	12	お子様は、家庭学習の習慣がある。(お子様が複数いらっしゃる場合は、お子様全員の様子からその傾向をお答えください。)
児童	8	家で勉強をしている。

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

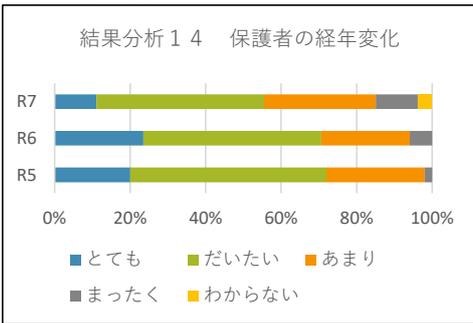
【教職員・保護者・児童の比較】



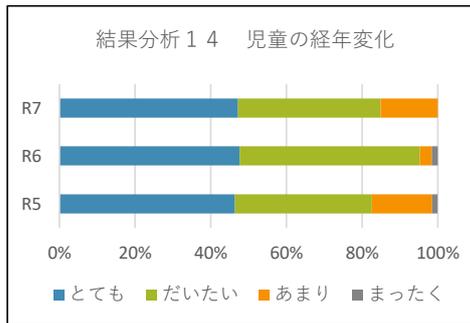
【教職員の経年変化】



【保護者の経年変化】



【児童の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

家庭学習の取組について傾向がわかる結果となりました。教職員はさらに保護者と共に子供たちの家庭学習の充実を図りたいこと、保護者の約4割は家庭学習の習慣について否定的に捉えていること、児童の約8割5分の児童は家庭学習を家でしていると認識していることがわかりました。今年度も、子供は家庭学習を十分にしているという認識であるが、保護者はそう思っていないという考察ができます。個に応じた家庭学習の出し方や質・量など学年の実態に応じた家庭での学習について今後学校でも精査を図っていきます。

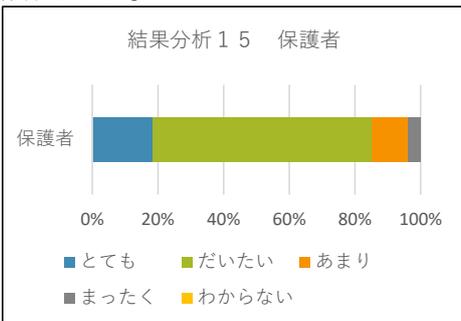
学校評価アンケート結果の分析(14)

家庭教育の観点による質問②

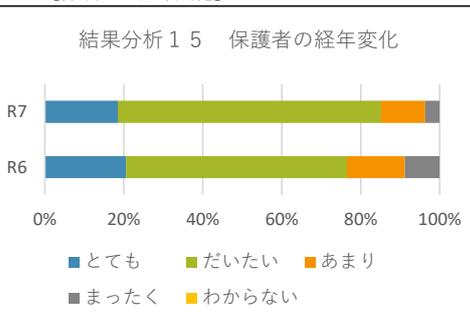
対象	質問番号	質問事項
教職員		なし
保護者	13	家庭では、お子様と、インターネット、ゲーム、テレビ、スマートフォン等デジタル機器の使用時間等のルールを決めている。(今年度新設項目)
児童		なし

グラフは、とても:青色 だいたい:緑色 あまり:オレンジ色 まったく:灰色 わからない:黄色(保護者のみ設定)

【保護者のグラフ】



【保護者の経年変化】



〈アンケート結果と考察〉

保護者の約8割が肯定的な意見でした。一方で、昨年度より若干否定的な数値が下がりました。